



QNAP

QMiroPlus-201W

ユーザーガイド

目次

1. はじめに	
このガイドについて.....	4
対象読者.....	4
文書の表記規則.....	4
2. 製品概要	
QMiroPlus-201W について.....	5
ハードウェア仕様.....	5
ソフトウェア機能.....	6
ワイヤレス仕様.....	7
パッケージ内容.....	8
コンポーネント.....	8
フロントパネル.....	9
リアパネル.....	11
安全情報.....	12
3. インストールとアクセス	
インストール.....	14
取り付け要件.....	14
2.5 インチトレイへの 2.5 インチハードドライブまたはソリッドステートドライブの取り付け.....	14
インターネットにルーターを接続する.....	17
ルーターを設定する.....	18
ルーターアクセス.....	19
ブラウザを使用してルーターにアクセスする.....	20
Qfinder Pro を使用してルーターにアクセスする.....	20
QuRouter アプリを使用してルーターにアクセスする.....	21
4. QuRouter	
QuRouter について.....	22
システム要件.....	22
はじめに.....	22
QuRouter の設定.....	23
ルーターと QNAP ID の紐付け.....	25
QNAP ID からルーターの紐付けを解除する.....	26
5. QuRouter ナビゲーション	
タスクバー.....	27
ダッシュボード.....	28
6. システム構成	
システム.....	29
ルーター動作モードの設定.....	29
アクセスポイント (AP) モードの設定.....	29
ルーターを見つける.....	30
ルーター LED を有効にする.....	30
ログの管理.....	31
システム設定.....	31
ファームウェア.....	34
ライブ更新の確認.....	34
ファームウェアの手動更新.....	35

7. ネットワーク設定

WAN ポートを設定する.....	36
LAN ポートを設定する.....	36
ルーティングテーブル情報の表示.....	37
静的ルート.....	37
スタティックルートの追加.....	38
スタティックルートの設定.....	38
スタティックルートの削除.....	38
ワイヤレス.....	39
ワイヤレスネットワークの設定.....	39
ゲスト用ワイヤレスネットワークの設定.....	40
Wi-Fi Protected Setup (WPS) の設定.....	41
クライアント一覧とブロック済クライアント一覧.....	42
デバイスをブロックリストに追加する.....	42
デバイスをブロックリストに設定する.....	43
デバイスをブロック済リストから削除する.....	43
ワイヤレスメッシュネットワーク.....	43
ノードをメッシュネットワークに追加する.....	44
ノードをワイヤレスメッシュネットワークから削除する.....	44
SD-WAN.....	44
QuWAN について.....	44
QuWAN の設定.....	45
QuWAN Orchestrator にアクセスする.....	47
QVPN.....	47
QVPN サーバーの設定.....	47
QVPN クライアント設定.....	51
QVPN ログの管理.....	52
サービスポート管理.....	53
カスタムサービスポートの追加.....	53
カスタムサービスポートの削除.....	54
DDNS 設定.....	54
DDNS (My DDNS) 設定を行う.....	54
DDNS ドメイン名を変更する.....	54

8. セキュリティ設定

ネットワークアドレストランスレーション (NAT).....	56
アプリケーションレイヤゲートウェイ (ALG).....	56
ポートフォワーディング.....	56
非武装地帯 (DMZ).....	57
探索設定.....	58
ユニバーサルプラグアンドプレイ (UPnP) を設定する.....	58
ペアレンタルコントロール.....	59
ペアレンタルコントロールルールを追加する.....	59
ペアレンタルコントロールルールを設定する.....	59
ペアレンタルコントロールルールを削除する.....	60
デバイスをペアレンタルコントロールルールに追加する.....	60
デバイスをペアレンタルコントロールルールから削除する.....	60

9. QuRouter アプリ

QuRouter.....	61
システム要件.....	61
QuRouter アプリを使用してルーターを設定する.....	61
概要.....	65

10. QTS 管理

QTS アクセス.....	68
QTS クイックスタートガイド.....	69
QTS パワーアクションの実施.....	72
QTS システム情報の表示.....	72
11. トラブルシューティング	
ホットスワップが不良なドライブ.....	74
サポートおよびその他のリソース.....	74
12. 用語集	
myQNAPcloud.....	75
Qfinder Pro.....	75
QNAP ID.....	75
QTS.....	75
QuRouter.....	75
QuWAN.....	75
QuWAN Orchestrator.....	75
13. 注意	
限定保証.....	76
免責事項.....	76
CE 通知.....	76
FCC 通知.....	77
Radio Equipment Directive (RED) 2014/53/EU Article 10.....	77
EU RoHS ステートメント.....	78
ISED 準拠ステートメント.....	78
放射線曝露ステートメント.....	78
EU 指令 2002/96/EC Waste Electronic and Electrical Equipment (WEEE).....	78
CCC クラス B 通知.....	78
UKCA 通知.....	79

1. はじめに





このガイドについて

このガイドには、デバイスに関する情報と、このハードウェアの取り付けに関する順を追った説明が書かれています。さらに、基本的な操作方法とトラブルシューティング情報も含まれています。

対象読者

このドキュメントは、消費者ならびにネットワーク管理者向けです。このガイドでは、ユーザーが、ネットワークストレージとバックアップに関する基本的理解を有していることを前提としています。

文書の表記規則

記号	説明
	注記では、デフォルト設定やその他補足情報を提供します。
	重要な注記では、必須の設定やその他重要情報を提供します。
	ヒントでは、タスクの実行や設定の実施における推奨や代替手段を提供します。
	警告は、考慮を怠ると損害、傷害さらには死亡に至ることがある情報を提供します。

2. 製品概要

この章では、QNAP NAS デバイスに関する基本的な情報について説明します。

QMiroPlus-201W について

The QMiroPlus-201W は、ネットワーク接続ストレージ (NAS) を組み込んだ、QNAP 初のトライバンドワイヤレスメッシュネットワーク (WMN) ルーターです。QMiroPlus-201W には、4つの内部アンテナ、4つの 1 GbE ポートを装備しており、SD-WAN のデプロイをサポートします。このルーターには、さまざまなアプリケーションや拡張オプションのために NAS 機能と 2つの SATA ドライブベイが備わっています。

QuRouter Web インタフェース QTS アプリケーションあるいは QuRouter モバイルアプリケーションを使用して、複数の QMiro および QMiroPlus ルーターでワイヤレスメッシュネットワークを作成し、管理できます。

ハードウェア仕様



警告

お使いの QNAP 製品にハードウェア上の欠陥がある場合は、メンテナンスまたは交換を行うために QNAP または QNAP 認定サービスセンターに返品してください。ユーザーまたは認定されていないサードパーティが製品の修理やメンテナンスを行うと、保証が利用できなくなります。

QNAP は、無断改変およびサポートされていないサードパーティ製アプリケーションのインストールに起因する損害やデータ損失の責任を負いません。

詳細については、「[QNAP 保証利用規約](#)」をご覧ください。



ヒント

モデルの仕様は、事前の予告なしで変更することがあります。最新の仕様については、<https://www.qnap.com> をご覧ください。

コンポーネント	QMiroPlus-201W	
	ルーター	ストレージ
プロセッサ		
CPU	Qualcomm® IPQ4019 SoC	Intel® Celeron® J4125
頻度	4 コア 716.8 MHz	4 コア 2.0 GHz
アーキテクチャ	ARM Cortex-A7	x86 64 ビット
メモリ		
内蔵メモリ	512 MB DDR3	4 GB DDR4
フラッシュメモリ	4 MB SPI NOR	4 GB eMMC
ストレージ		
ドライブベイ	2 x 2.5 インチ SATA 3 Gbps	
ドライブ互換性	<ul style="list-style-type: none"> • 2.5 インチ SATA ハードディスクドライブ • 2.5 インチ SATA ソリッドステートドライブ 	
ホットスワップ	対応	
ネットワーク		
ギガビットネットワークインターフェース	<ul style="list-style-type: none"> • ホストポート：1 x 10M/100M/1G/2.5G RJ45 • 4 x 10M/100M/1G RJ45 	
Bluetooth	Bluetooth 5	

コンポーネント	QMiroPlus-201W	
	ルーター	ストレージ
電源		
最大電源消費	60 W	
ワイヤレス		
Wi-Fi	Wi-Fi 5 (802.11ac)	
アンテナ	4 x 内部アンテナ	
外部 I/O ポートおよび拡張スロット		
USB ポート	2 x USB 3.2 Gen 1 Type-A ポート	
インターフェイス		
ボタン	<ul style="list-style-type: none"> • 電源 • リセット • Wi-Fi Protected Setup (WPS) • ストレージ電源ボタン 	
寸法		
寸法 (H x W x D)	143.5 x 105 x 183.5 mm (5.64 x 4.13 x 7.22 インチ)	
正味重量	1.44 kg (3.17 lbs)	
その他		
ファン	システム: 1 x 60 mm、12V DC スマートファン	
動作温度	0°C~40°C (32°F~104°F)	
相対湿度	非結露、相対湿度: 5%~95%	



注
対応ドライブと拡張カードの一覧は、<https://www.qnap.com/compatibility> でご覧ください。

ソフトウェア機能

機能	説明
システムステータスと管理	<ul style="list-style-type: none"> • デバイスの接続状態 • デバイスの健全性 • WAN 状態 • ワイヤレスの状態 • ファームウェアスケジュール管理
有線ネットワーク管理	<ul style="list-style-type: none"> • WAN/LAN ポート設定 • ネットワークポート接続状態 • IPv4 アドレスルーティング管理
セキュリティ	ネットワークアドレス管理 (NAT) とポートフォワーディング

機能	説明
VPN	<ul style="list-style-type: none"> • L2TP、OpenVPN、QBelt (QNAP 独自の VPN) プロトコルを用いたリモートアクセスサポート • クライアント IP プール管理 • VPN クライアント管理 • 接続ログ • 最大 VPN トンネル: 30
アクセス制御	<ul style="list-style-type: none"> • ペアレンタルコントロール • ドメイン名フィルタリング (DNS) とコンテンツフィルタリング
システム設定	<ul style="list-style-type: none"> • バックアップと復旧 • 再起動、リセット • オーディオアラートの管理 • ローカルアカウントと QNAP ID の管理
QuWAN	組織、リージョン、サイト、デバイス名、デバイスロールの設定

ワイヤレス仕様

仕様	説明
標準	<ul style="list-style-type: none"> • 5 GHz: IEEE 802.11ac/n/a • 2.4 GHz: IEEE 802.11ac/n/g/b
動作周波数	<ul style="list-style-type: none"> • 2.4 GHz • 5 GHz-1 • 5 GHz-2
速度	AC2200 <ul style="list-style-type: none"> • 5 GHz-1 (867 Mbps): 2 x 2 dual band (20/40/80 MHz) • 5 GHz-2 (867 Mbps): 2 x 2 single band (20/40/80 MHz) • 2.4 GHz (400 Mbps): 2 x 2 dual band (20/40 MHz)
モード	<ul style="list-style-type: none"> • ルーターモード • アクセスポイント (AP) モード
ゲスト用ワイヤレスネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> • 1 x 5 GHz • 1 x 2.4 GHz

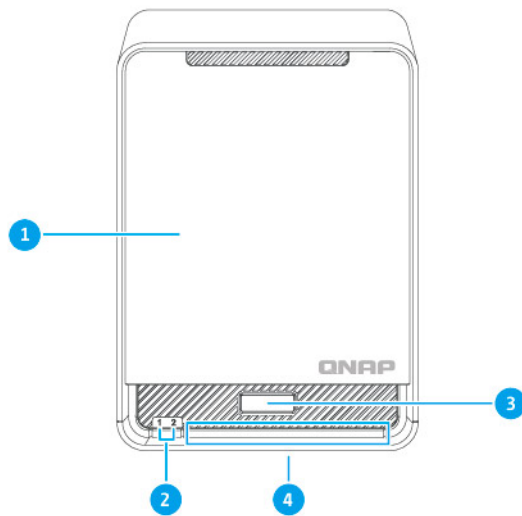
仕様	説明
暗号化	<ul style="list-style-type: none"> • WPA2-PSK • WPA-PSK + WPA2-PSK • WPA - エンタープライズ • WPA2 - エンタープライズ • WPA2-PSK / WPA3-Personal • OWE
ワイヤレスネットワーク管理	<ul style="list-style-type: none"> • MU-MIMO 技術のサポート • トライバンド (2.4 GHz と 5 GHz 帯) アクセスポイントに対するバンドステアリングをサポート • 送信出力 (高、中、低) • 20/40/80 MHz 帯域 • 自動およびカスタム DFS (Dynamic Frequency Selection) チャンネル • RTS/CTS (Request to Send/Clear to Send) 機能 • スマート接続 • ワイヤレススケジューラー • Wi-Fi Protected Setup (WPS)
Bluetooth	
Bluetooth バージョン	Bluetooth® 5.0
Bluetooth アンテナゲイン	3.42dBi

パッケージ内容

アイテム	数量
QMiroPlus-201W ルーター	1
AC 電源アダプター	1
イーサネットケーブル	1

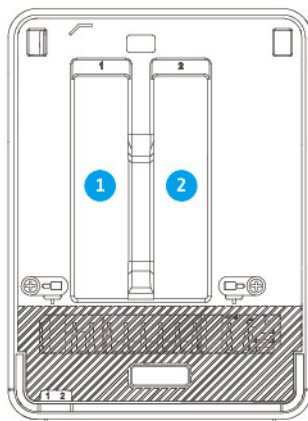
コンポーネント

フロントパネル



番号	コンポーネント
1	ケースカバー
2	ドライブ LED 詳細は、 LED をご覧ください。
3	WPS ボタン 詳細は、 WPS ボタン をご覧ください。
4	ステータス LED 詳細は、 LED をご覧ください。

ケースカバーのない前面パネル



番号	コンポーネント
1	ドライブベイ 1
2	ドライブベイ 2

LED

LED は、ルーター、ドライブ、ストレージ、ネットワークポートの全般的な状態を示します。


LED	状態	説明
システム状態	緑色	ルーターの初期化が終了すると、ストレージの状態は次のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 初期化中 ・ 電源オフ ・ 起動中
	2 秒ごとに緑色に点滅	ルーターが起動中の場合、ストレージの状態は次のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 初期化中 ・ 電源オフ ・ 起動中
	2 秒ごとに青色に点滅	ルーターの初期化が終了すると、ストレージの初期化ができます。
	青色	ルーターとストレージ両方の初期化が終了しました。
	オフ	ルーターの電源が切れています。
	赤色	ルーターがネットワークに接続されていません。
ワイヤレス	0.5 秒ごとにオレンジが点滅します	メッシュネットワーク内のノードの信号が弱くなっています。
	赤色	メッシュネットワーク内のノードが範囲外です。
	0.5 秒ごとに青く点滅します	メッシュネットワーク内でノードが追加されようとしています。
2.5 ギガビットイーサネットスピード	緑色	ネットワーク接続は 2.5 Gbps で動作しています。
	オレンジ	ネットワーク接続は 1 Gbps で動作しています。
	オフ	<ul style="list-style-type: none"> ・ ネットワーク接続は 100 Mbps で動作しています。 ・ ネットワーク接続は 10 Mbps で動作しています。
2.5 ギガビットイーサネットアクティビティ	オレンジ	ネットワーク接続が確立されました。
	オレンジの点滅	ルーターはネットワークからアクセスされています。
	オフ	ネットワーク接続がありません。

LED	状態	説明
ドライブ	赤の点滅	データのアクセス中に読み取り/書き込みエラーが発生しました。
	赤色	ドライブの読み取り/書き込みエラーが発生しました。
	緑の点滅	データがアクセス中です。
	緑色	ドライブが準備完了です。
	オフ	ドライブが見つかりません。

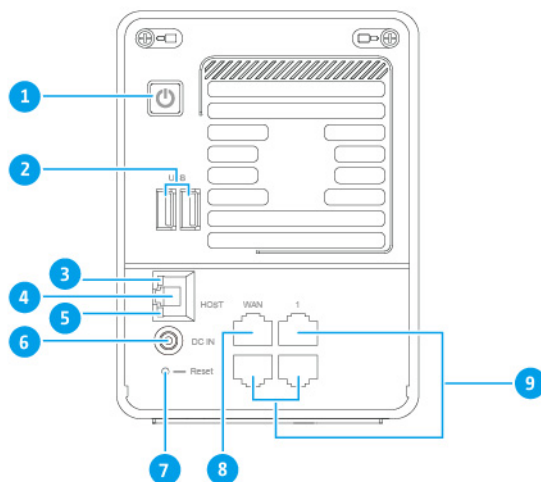
WPS ボタン

Wi-Fi Protected Setup (WPS) は、ワイヤレスネットワークのセットアップをシンプルにできるプロトコルです。これによりユーザーは、ネットワーク名やパスワード、その他の暗号化情報の設定をすることなくワイヤレスネットワークのセットアップを行えます。

WPS 設定は、デバイスの前面パネルにある WPS ボタンを押して行います (フロントパネルを参照)。QuRouter によっても WPS を設定できます。詳細は、[Wi-Fi Protected Setup \(WPS\) の設定](#)を参照してください。

操作	ユーザーのアクション	結果
WPS を有効にする	<ol style="list-style-type: none"> 1. ルーターにある WPS ボタンを 3 秒間押します。 2. クライアントデバイス上で WPS を有効にします。 <p> ヒント WPS 機能は製品によって別の表記がされていることがあります。通常は、この機能はワイヤレス設定ページにあります。</p>	WPS プロトコルが有効になり、クライアントデバイスがネットワークに参加します。

リアパネル



番号	コンポーネント
1	ストレージ電源ボタン
2	USB 3.2 Gen 1 Type-A ポート
3	2.5 ギガビットイーサネットアクティビティ LED
4	2.5 ギガビットイーサネットホストポート
5	2.5 ギガビットイーサネットスピード LED
6	電源入力
7	リセットボタン
8	WAN ポート
9	LAN ポート

ストレージ電源ボタン

操作	ユーザー操作	結果
電源オン	ボタンを 1 回押します。	ストレージ機能がオンになっています。
電源オフ	ボタンを 1.5 秒間押し続けます。	ストレージ機能がオフになっています。

リセットボタン

QNAP ルーターは、デバイスの背面側にあるリセットボタンを用い、工場出荷時の設定に戻すリセットが可能です。

コンポーネントの配置に関する詳細は、デバイスの背面側をご覧ください ([リアパネル](#))。

操作	ユーザーの操作	結果
リセット	ボタンを 10 秒間押し続けます。	ルーターがリセットされ、すべてのデフォルト設定が復元されます。これは、スタティックに割り当てられた IP アドレス情報、WAN および LAN の設定、セキュリティ設定を消去します。 ルーターは、QNAP ID との紐付けが切れます。

安全情報

以下の説明では、人の安全と環境の安全を確立するためのものです。操作を開始する前に、これらの指示に慎重にしたがってください。

一般的な説明

- デバイスは、安全な場所に保管し、ツール、ロック、キー、その他セキュリティ手段の使用から制御される必要があります。
- すべての制限、安全措置、取り付けおよびメンテナンス手順の知識する、有資格の訓練を受けた認定の管理者のみがデバイスに物理的にアクセスできる必要があります。
- けがやコンポーネントへのダメージを避けるためにも、手を触れる前に、ドライブやその他内部システムコンポーネントが冷めていることを確認してください。
- ケガに注意し、コンポーネントを傷つけないように、静電放電 (ESD) 手順を守ってください。

電源

- 火災や感電のリスクを低減させるためにも、適切に接地した電源コンセントにのみ電源コードを接続してください。



冗長電源ユニットのあるデバイスには、1つ以上の電源ユニット（PSU）コードが含まれていることがあります。深刻な損傷を避けるためにも、システムのコンポーネントの取付または交換を行う前に、訓練を受けたサービステクニシャンがすべての PSU コードをデバイスから取り外す必要があります。

稼働部分



稼働ファンブレード：デバイスが電源に接続されているときには、稼働ファンブレードに体が触れないようにしてください。



稼働コンポーネント：その他稼働コンポーネントにも触れないようにしてください。

3. インストレーションとアクセス

この章では、特定のハードウェアのインストレーションとルーターのアクセス手順について説明します。

インストール

取り付け要件

カテゴリー	アイテム
環境	<ul style="list-style-type: none"> 室温：0°C～40°C (32°F～104°F) 非結露、相対湿度：5%～95% 湿球温度：27°C (80.6°F) 平坦で直射日光、液体、化学薬品に曝されない帯電防止面
ハードウェアおよび周辺機器	ネットワークケーブル
ツール	静電気防止用手首バンド

2.5 インチトレイへの 2.5 インチハードドライブまたはソリッドステートドライブの取り付け

対応のドライブカードの一覧は、<https://www.qnap.com/compatibility> でご覧ください。



警告

- ドライブをインストールすると、そのドライブ上のデータはすべて削除されます。
- コンポーネントを傷つけないように、静電放電（ESD）手順を守ってください。

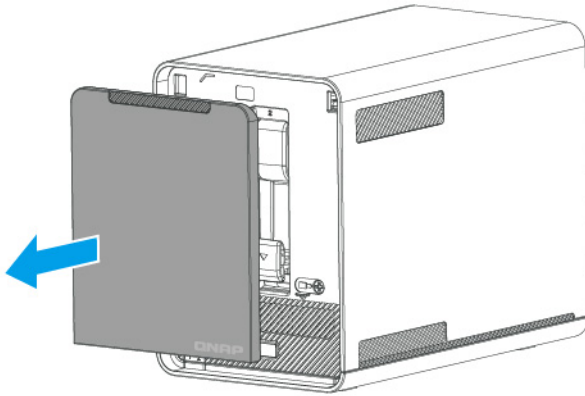


稼働ファンブレード：稼働ファンブレードに手や体が触れないようにしてください。



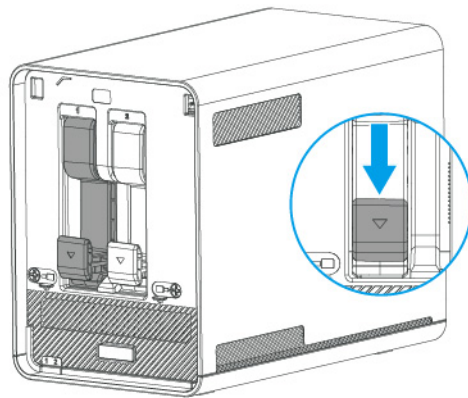
その他稼働コンポーネント：その他稼働コンポーネントに手や体が触れないようにしてください。

- デバイスをオフにします。
- ケースカバーを取り外します。
 - ケースカバー下にあるハンドルを探します。
 - ケースカバーハンドルを手前に引きます。

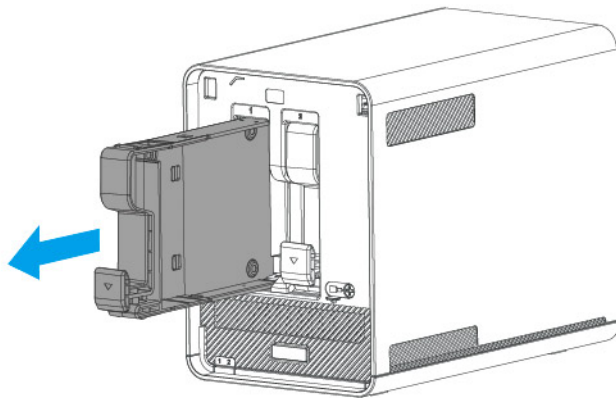


3. ドライブトレイを取り外します。

a. ロックを押し下げてトレイのロックを外します。

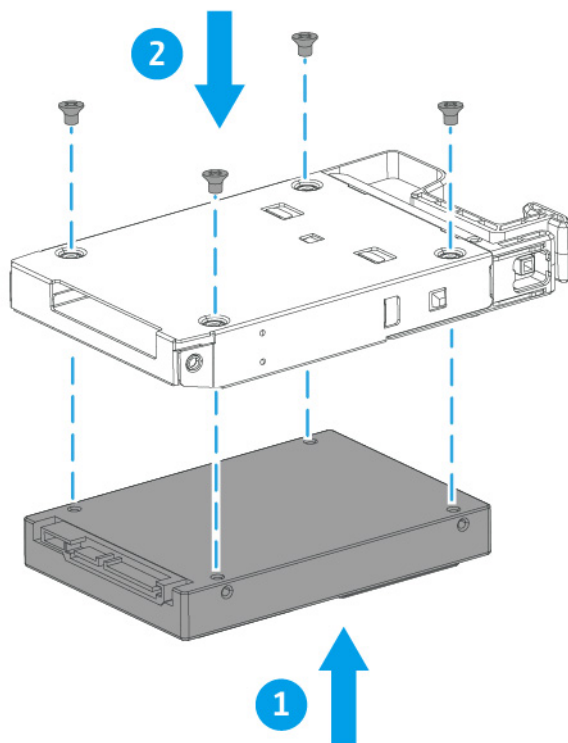


b. トレイを引き出します。



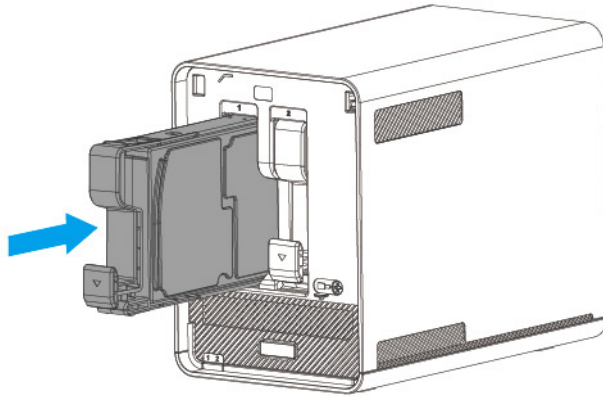
4. ドライブをトレイに取り付けます。

- a. ドライブ底面の穴がトレイ底面の穴に合うようにして、ドライブをトレイの上に置きます。
- b. ネジをつけます。

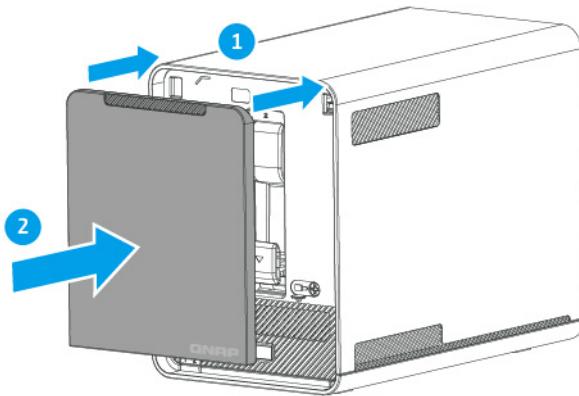


5. トレイをベイにロードします。

- a. トレイをベイに差し入れます。



6. ケースカバーを取り付けます。
 - a. ケースカバーをルーターの溝に合わせます。
 - b. ケースカバーを元の位置に押し戻します。



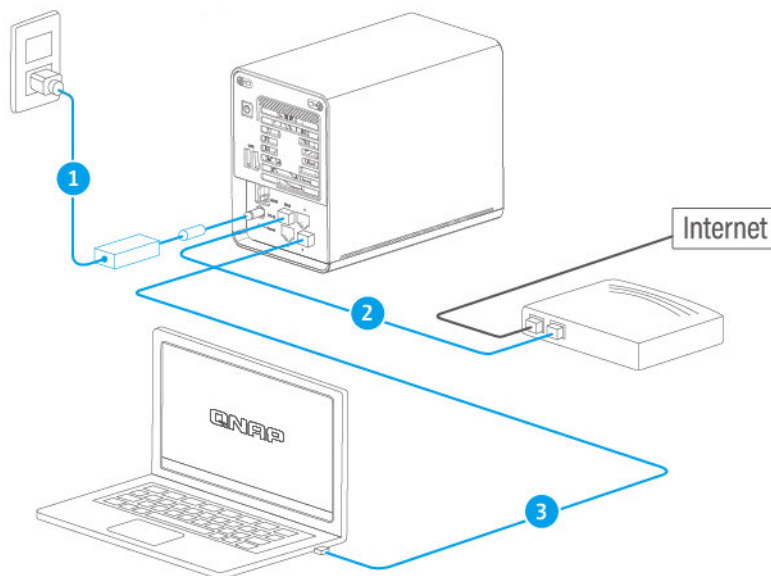
7. デバイスをオンにします。

インターネットにルーターを接続する

1. ルーターを電源に接続します。
 - a. 電源コンセントに電源コードをつなぎます。
 - b. 電源コンセントに電源アダプターをつなぎます。

ルーターの電源が入り、前面パネルの LED が緑色で点滅します。

2. ルーターをインターネットに接続します。
 - a. イーサネットケーブルをルーターの WAN ポートに接続します。
 - b. イーサネットケーブルの反対側を ISP ゲートウェイまたはモデムに接続します。
3. ルーターをコンピューターに接続します。
 - a. イーサネットケーブルをルーターの LAN ポートに接続します。
 - b. イーサネットケーブルの反対側をコンピューターのイーサネットポートに接続します。





4. コンピューター上の Web ブラウザーを開きます。
5. アドレスバーに「192.168.100.1」と入力します。
QuRouter ログイン画面が表示されます。
6. 画面のインストレーションガイドに沿ってルーターの初期設定を行ってください。

ルーターを設定する

1. お使いのルーターは、要件を満たした環境に設置してください。
詳細は、[取り付け要件](#) をご覧ください。
2. ライブを取り付けます。
詳細は、[2.5 インチトレイへの 2.5 インチハードドライブまたはソリッドステートドライブの取り付け](#) をご覧ください。
3. ルーターの電源を入れます。
4. LED の状態が緑色であることを確認します。
詳細は、[LED](#) をご覧ください。

5. ルーターをネットワークおよびコンピューターに接続します。
詳細は、[インターネットにルーターを接続する](#) をご覧ください。
6. ルーターを設定します。
詳細は、以下のトピックをご覧ください。
 - [QTS クイックスタートガイド](#)
 - [QuRouter の設定](#)
7. QNAP ID またはローカルアカウント資格情報でログインします。
詳細は、[ルーターと QNAP ID の紐付け](#) をご覧ください。

ルーターアクセス

方法	説明	要件
Web ブラウザ	<p> 重要 QuRouter 遠隔管理は、[システム] > [アクセス制御] > [アクセス制御設定] で有効にできます。</p> <p>次の情報があれば、同じネットワーク上のどのコンピューターからでもデバイスにアクセスすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ルーター IP アドレス • 正規ユーザーアカウントのログイン資格情報 <p>別な方法として、次の情報がある場合には QTS IP アドレスを使用してルーターにアクセスすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • QTS IP アドレス • 正規ユーザーアカウントのログイン資格情報 <p> ヒント QTS IP アドレスは、ルーターのアセットタグ上に NAS IP アドレスとして並んでいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • デフォルトのユーザー名: admin • デフォルトのパスワード: 区切り文字を入れず、アルファベット大文字による NAS の MAC アドレス。 <p>詳細は、ブラウザを使用してルーターにアクセスするを参照してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • ルーターと同じネットワークに接続されているコンピューター • Web ブラウザ

方法	説明	要件
Qfinder Pro	Qfinder Pro は、特定のネットワーク上にある QNAP デバイスを見つけ、アクセスできるようにするデスクトップユーティリティです。このユーティリティは、Windows、macOS、Linux、Chrome OS をサポートします。 Qfinder Pro をダウンロードするには https://www.qnap.com/utilities に進んでください。 詳細は、 Qfinder Pro を使用してルーターにアクセスする を参照してください。	<ul style="list-style-type: none"> ルーターと同じネットワークに接続されているコンピューター Web ブラウザ Qfinder Pro

ブラウザを使用してルーターにアクセスする

IP アドレスと正しいユーザーアカウントのログイン資格情報を知っている場合は、ネットワーク上のコンピューターを使用してルーターにアクセスできます。




注

ルーターの IP アドレスを見つけるには、Qfinder Pro を使用します。

- お使いのコンピューターがルーターと同じネットワークに接続されていることを確認します。
- コンピューター上のウェブブラウザを開きます。
- アドレスバーにルーターの IP アドレスを入力します。
- ログインインターフェイスを選択します。
 - QuRouter
 - QTS
- デフォルトのユーザー名とパスワードを指定します。

デフォルトのユーザー名	デフォルトのパスワード
admin	<ul style="list-style-type: none"> QuRouter: 区切り文字を入れず、アルファベット大文字によるルーターの MAC アドレス。 QTS: 区切り文字を入れず、アルファベット大文字による NAS の MAC アドレス。



ヒント
たとえば、MAC アドレスが 00:0a:0b:0c:00:01 の場合、デフォルトパスワードは 000A0B0C0001 となります。


- [ログイン]** をクリックします。
QuRouter ダッシュボードページが表示されます。

Qfinder Pro を使用してルーターにアクセスする

Qfinder Pro は、特定のネットワーク上にある QNAP デバイスを見つけ、アクセスできるようにするデスクトップユーティリティです。このユーティリティは、Windows、macOS、Linux、Chrome OS をサポートします。

- ルーターと同じネットワークに接続されているコンピューターに Qfinder Pro をインストールします。
Qfinder Pro をダウンロードするには <https://www.qnap.com/utilities> に進んでください。

2. Qfinder Pro を開きます。
Qfinder Pro はネットワーク上のすべての QNAP デバイスを自動的に検索します。
3. 一覧の中からルーターを探してから、その名前か IP アドレスをダブルクリックします。
デフォルトの Web ブラウザーページが開きます。
4. ログインインターフェイスを選択します。
 - QuRouter
 - QTS
5. デフォルトのユーザー名とパスワードを指定します。

デフォルトのユーザー名	デフォルトのパスワード
admin	<ul style="list-style-type: none"> • QuRouter: 区切り文字を入れず、アルファベット大文字によるルーターの MAC アドレス。 • QTS: 区切り文字を入れず、アルファベット大文字による NAS の MAC アドレス。 <div style="display: flex; align-items: center;">  <p>ヒント たとえば、MAC アドレスが 00:0a:0b:0c:00:01 の場合、デフォルトパスワードは 000A0B0C0001 となります。</p> </div>

6. **[ログイン]** をクリックします。
ホームページが表示されます。

QuRouter アプリを使用してルーターにアクセスする

このプロセスでは、設定済のルーターがあることが必要です。新しいルーターをセットアップするには、[QuRouter アプリを使用してルーターを設定する](#)をご覧ください。

1. QuRouter を開きます。
Android または iOS デバイスのアプリをダウンロードするには、次のリンクをクリックしてください。
 - [QuRouter for Google Play Store](#)
 - [QuRouter for iOS](#)
2. **[既存のデバイスログイン]** をタップします。
3. リージョンを選択します。
QNAP ID ログインページが表示されます。
4. QNAP ID とパスワードを指定します。
5. **[サインイン]** をタップします。

概要ページが表示されます。

4. QuRouter

QuRouter について

QuRouter は、QNAP ルーターに付属する集中化管理インタフェースで、Web ブラウザーからルーターの IP アドレスを指定してアクセスできます。その直感的なインタフェースで、QuRouter によってルーターの機能のセットアップや、セキュリティ、設定が簡単に行なえます。

システム要件

カテゴリ	詳細
ハードウェア	QNAP ルーター
ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> • Web ブラウザー: <ul style="list-style-type: none"> • Microsoft Edge 42 またはそれ以降 • Mozilla Firefox 60.0 またはそれ以降 • Apple Safari 11.1 またはそれ以降 • Google Chrome 70.0 またはそれ以降 • Qfinder Pro 6.9.2 またはそれ以降

はじめに

1. コンピューター上の Web ブラウザーを開きます。
2. アドレスバーに「192.168.100.1」と入力します。
QuRouter ログイン画面が表示されます。
3. ログインインターフェイスを選択します。
 - QuRouter
 - QTS
4. QNAP ID またはローカルアカウント資格情報でログインします。
詳細は、[ルーターと QNAP ID の紐付け](#)をご覧ください。
5. ネットワーク設定を行います。
詳細は、以下のトピックをご覧ください。
 - [WAN ポートを設定する](#)
 - [LAN ポートを設定する](#)
6. ワイヤレス設定を行います。
詳細は、以下のトピックをご覧ください。
 - [ワイヤレスネットワークの設定](#)
 - [ゲスト用ワイヤレスネットワークの設定](#)
 - [Wi-Fi Protected Setup \(WPS\) の設定](#)
7. システム設定を行います。

詳細は、以下のトピックをご覧ください。

- [デバイス名を編集する](#)
- [アクセス制御の設定](#)
- [再起動、リセット、バックアップ、復元](#)
- [オーディオアラートの設定を行う。](#)



注

詳細については、「QTS ユーザーガイド」の「ハードウェア」セクションをご覧ください。

8. QVPN 設定を行います。
詳細は、以下のトピックをご覧ください。

- [VPN ユーザーの追加](#)
- [QBelt VPN サーバーを有効にする](#)
- [L2TP VPN サーバーを有効にする](#)
- [OpenVPN VPN サーバーを有効にする](#)

QuRouter の設定

このセクションでは、初期セットアッププロセスにおいて Web 管理インターフェイスを用いてルーターを設定する方法を説明します。

1. Web ブラウザーを開きます。
2. アドレスバーに「192.168.100.1」と入力します。
3. あるいは、Qfinder Pro を使用して一覧の中からルーターを見つけます。
4. 名前または IP アドレスをダブルクリックします。
スマートインストールガイドページが表示されます。
5. **[開始]** をクリックします。
QuWAN のセットアップとアクセスページが表示されます。
6. **[OK]** をクリックします。
WAN 設定ページ表示されます。
7. 次の WAN インターフェイス設定のうち 1 つを選択してください。

設定	説明
DHCP	DHCP から自動で IP アドレス設定を取得する
スタティック IP	スタティック IP アドレスを手動で割り当て次の情報を指定する必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> • 固定 IP アドレス • サブネットマスク • DNS サーバー
PPPoE	PPPoE（イーサネットを経由したポイント・ツー・ポイントプロトコル）のユーザー名とパスワードを指定するにはこのオプションを選択します。

8. **[適用]** をクリックします。
9. デバイスの現在位置を指定します。
 - a. ドロップダウンリストをクリックし、国またはリージョンを選びます。

**注**

選択した場所がデバイスの IP ジオロケーションと一致しない場合、ルーターを基本ワイヤレスモードで使用するよう確認メッセージが表示されます。
基本ワイヤレスモードは次の制限があります。

- 2.4 GHz 帯はチャンネル 1~11 にのみアクセスできます。
- 5 GHz 帯は使用できません。
- 2.4 GHz 帯は低送信出力で動作します。

- b. **[適用]** をクリックします。
QuRouter はデバイスの位置を確認します。

10. ルーターの Wi-Fi ポイントを選択します。

**注**

Wi-Fi ポイントは、インストールされているルーターの物理的場所です。

11. **[適用]** をクリックします。
12. ルーターに対する新しい SSID とパスワードを入力します。


**注**

デフォルトの SSID とパスワードは、ルーターの背面側にあります。



13. **[適用]** をクリックします。
14. 別のルーターをメッシュネットワークに追加します。
 - a. 一覧からルーターを選択します。
 - b. **[適用]** をクリックします。
 - c. Wi-Fi ポイントを選択します。
 - d. **[適用]** をクリックします。
15. ファームウェアを最新バージョンに更新します。
詳細は、[ファームウェア](#)をご覧ください。

16. **[適用]** をクリックします。
確認メッセージが表示されます。
17. ログインインターフェイスを選択します。
 - QuRouter
 - QTS
18. デフォルトのユーザー名とパスワードを入力します。

デフォルトのユーザー名	デフォルトのパスワード
admin	<ul style="list-style-type: none"> • QuRouter: 区切り文字を入れず、アルファベット大文字によるルーターの MAC アドレス。 • QTS: 区切り文字を入れず、アルファベット大文字による NAS の MAC アドレス。 <div style="border-left: 2px solid orange; padding-left: 10px; margin-top: 10px;">  ヒント たとえば、MAC アドレスが 00:0a:0b:0c:00:01 の場合、デフォルトパスワードは 000A0B0C0001 となります。 MAC アドレスは、デバイス背面側のアセットタグ上にあります。 </div>

19. **[ログイン]** をクリックします。
ローカルアカウントウィンドウが開きます。
20. 任意: ご自身の QNAP ID とパスワードを使って QuRouter にログインできます。
詳細は、[ルーターと QNAP ID の紐付け](#)をご覧ください。
21. ローカルアカウントのユーザー名とパスワードを再入力するか変更します。
22. **[OK]** をクリックします。
確認メッセージが表示されます。

QuRouter が設定を保存します。

QuRouter が有効になっているかどうかを確認するには、**[詳細]** > **[ヘルプ]** > **[クイックスタート]** に進んでから、**システムボリュームと QuRouter** ページに進んでください。

ルーターと QNAP ID の紐付け

1. QNAP ID とパスワードで QuRouter にログインします。




注

新しい QNAP アカウントを作成するには、**[アカウントの作成]** をクリックします。

2. **[ログイン]** をクリックします。
ローカルアカウントウィンドウが開きます。
3. 2段階認証を完了するには、ローカルアカウントの資格情報を入力します。
4. **[OK]** をクリックします。
QuRouter ダッシュボードが開き、**デバイス名の編集**ウィンドウが開きます。
5. 3~15文字のアルファベットでデバイス名を指定します。
6. **[OK]** をクリックします。

ルーターが QNAP ID に紐付けられます。

QNAP ID からルーターの紐付けを解除する

1. QuRouter にログインします。
2. [システム] > [アクセス制御] > [管理者] に進みます。
3. [QNAP ID を解除] の下の  をクリックします。
確認のメッセージが表示されます。
4. [OK] をクリックします。



注

ルーターと QNAP ID との紐付けが解除され、QuRouter からログアウトされます。

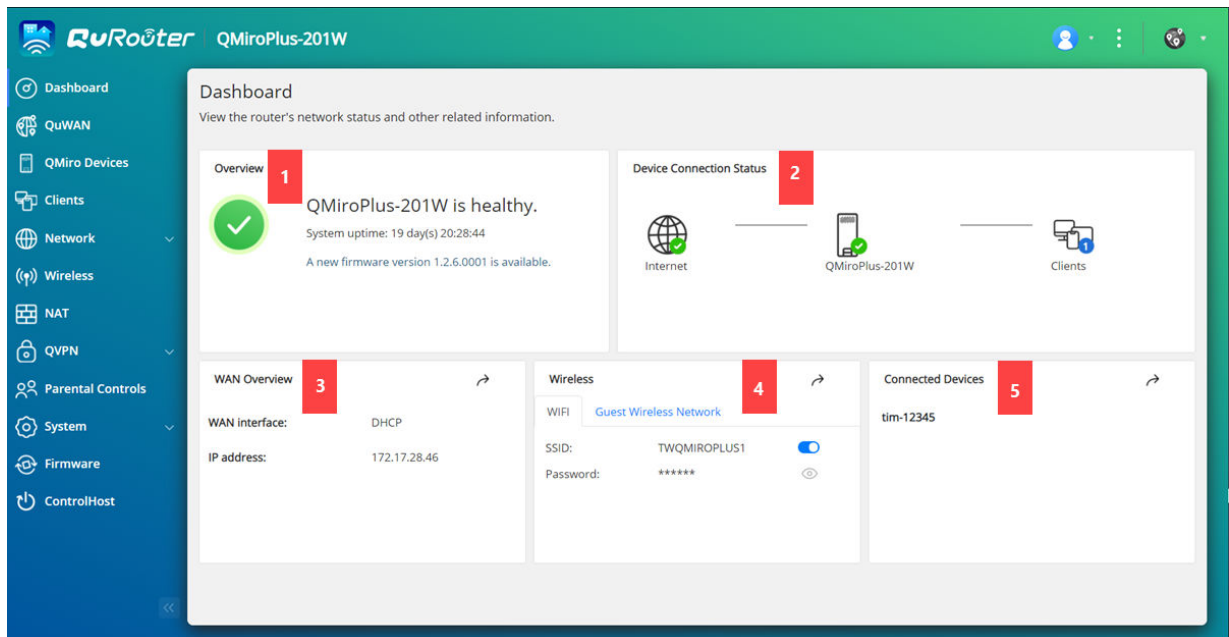
5. QuRouter ナビゲーション


タスクバー



番号	エレメント	ユーザーのアクション
1	[USER_NAME]	ログアウト：現在のセッションからユーザーをログアウトします
2	詳細	<p>ボタンを押して以下のメニュー項目を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 言語：サポートされている言語の一覧が開き、オペレーティングシステムの言語を変更できます。 • ドメイン設定：クリックしてドメインを変更します。 • バージョン情報：以下の情報が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • オペレーティングシステム • ハードウェアモデル • ファームウェアバージョン
3	QuWAN	<ul style="list-style-type: none"> • ボタンを押し、次の QuWAN 関連の情報を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • QuWAN Orchestrator の接続状態 • 組織 • [QuWAN 設定] をクリックし、QuWAN 設定を管理します。 • [QuWAN Orchestrator に移動] をクリックし、新しいタブまたはウィンドウで QuWAN Orchestrator を開きます。

ダッシュボード



番号	セクション	表示される情報	ユーザー操作
1	概要	<ul style="list-style-type: none"> 稼働時間（日、時間、分、秒） CPU 温度 ファームウェア情報 	-
2	デバイスの接続状態	<ul style="list-style-type: none"> インターネットの状態 デバイスの状態 接続クライアント数 	-
3	WAN の概要	<ul style="list-style-type: none"> WAN インターフェイス IP アドレス トラフィック 	<p>→ をクリックして [ネットワーク] > [WAN] を開きます。</p>
4	ワイヤレス	ワイヤレス/ゲスト用ワイヤレスネットワーク <ul style="list-style-type: none"> SSID パスワード 	<p><input checked="" type="checkbox"/> をクリックしてワイヤレスまたはゲスト用ワイヤレスネットワークを有効にします。</p> <p>ヒント パスワードを表示させるには  をクリックします。</p>
5	接続されているデバイス	接続されているデバイスの名前	<p>→ をクリックし、[クライアント] を開きます。</p>

6. システム構成

システム

ルーター動作モードの設定

QuRouter は、2 つのルーター動作モードをもっています。

- **ワイヤレスルーター:** これはデフォルトのルーターモードで、デバイスはインターネットに接続してそのクライアントデバイスと無線接続を共有できます。NAT および DHCP はデフォルトで有効化されています。
- **アクセスポイント (AP):** ルーターがネットワークケーブルで別のワイヤレスルーターに接続し、無線信号の到達範囲を他のネットワークデバイスまで広げます。ルーターがワイヤレスアクセスポイントとして動作している場合、ルーター関連の機能 (DHCP サーバー、NAT、QuWAN、WAN) が無効になります。アクセスポイントモードを設定する詳細は、[アクセスポイント \(AP\) モードの設定](#)を参照してください。


1. QuRouter にログインします。
2. **[システム]** > **[操作モード]** に進みます。
3. ルーター操作モードを選択します。
4. **[適用]** をクリックします。

QuRouter が動作モード設定を適用します。

アクセスポイント (AP) モードの設定

アクセスポイント (AP): ルーターがネットワークケーブルで別のワイヤレスルーターに接続し、無線信号の到達範囲を他のネットワークデバイスまで広げます。ルーターがワイヤレスアクセスポイントとして動作している場合、ルーター関連の機能 (DHCP サーバー、NAT、QuWAN、WAN) が無効になります。

1. QuRouter にログインします。
2. **[システム]** > **[操作モード]** に進みます。
3. **[アクセスポイント (AP) モード]** を選択します。
 - a. 任意: **[スパンニングツリープロトコル (STP) を有効にする]** を選択します。
 - b. 以下の IP 割り当て方法のいずれか 1 つを選択します。
 - **DHCP:** DHCP サーバーから IP アドレス情報を自動的に取得します。
 - **静的 IP:** IP アドレス情報を手動で指定します。
次のスタティック IP アドレス設定を行います。

設定	ユーザーのアクション
固定 IP アドレス	固定 IP アドレスを指定します。  ヒント これらの設定に関する最良の方法を知るには、ご自身のネットワーク設定を調べてください。
サブネットマスク	IP アドレスを分割するサブネットマスクを指定します。

設定	ユーザーのアクション
デフォルトゲートウェイ	DHCP サーバー用のデフォルトゲートウェイの IP アドレスを指定します。
DNS サーバー	DHCP サーバー用の DNS サーバーを指定します。

4. **[適用]** をクリックします。
確認メッセージが表示されます。
5. **[OK]** をクリックします。



重要

次の設定は、ルーターが AP モードに変更された場合には変化します。

- ルーターは、QNAP ID との紐付けが切れます。
- ルーターは、QNAP および QuWAN の組織から削除されます。ルーターモードを有効にしている場合は、QuWAN 設定を再設定する必要があります。

6. 同一ローカルエリアネットワークに接続されているコンピューターで Qfinder Pro を起動します。



注

Qfinder Pro をダウンロードするには <https://www.qnap.com/utilities> に進んでください。

7. 一覧の中からルーターを探し、その名前か IP アドレスをダブルクリックします。
ログイン画面が表示されます。
8. ルーターのローカルアカウント資格情報を入力します。
9. **[ログイン]** をクリックします。




注

QuRouter は、ネットワーク、ワイヤレス、ファームウェア、システム設定などアクセスポイント設定に関連した情報だけを表示します。

ルーターを見つける

このセクションでは、ルーターの LED インジケーターを遠隔から作動させることで、施設内にあるルーターを見つける方法を解説します。


1. QuRouter にログインします。
2. **[QMiro デバイス]** に進みます。
3. QMiro デバイスリストでルーターを見つけます。
4.  をクリックします。
設定ウィンドウが開きます。
5. **[5 秒間デバイスを探す]** の横で、**[開始]** をクリックします


ルーターの LED が 5 回点滅します。

ルーター LED を有効にする

1. QuRouter にログインします。
2. **[QMiro デバイス]** に進みます。

3. QMiro デバイスリストでルーターを見つけます。

4.  をクリックします。
設定ウィンドウが開きます。

5. LED ステータスの横で、 をクリックします。

ルーター LED が有効になっています。

ログの管理

重要なイベントやエラー、警告は、問題の診断のために使用するため、およびルーターの動作を監視するために記録されます。共通のイベントとしては、ネットワークサービスの有効化や無効化、アカウントとシステム設定、セキュリティ設定があります。

1. QuRouter にログインします。
2. [システム] > [イベントログ] に進みます。
3. 以下のタスクのいずれかを行います。


タスク	ユーザーのアクション
ファイルの検索	<ol style="list-style-type: none"> a. 検索フィールドを見つけます。 b. 検索語を入力します。
フィルターイベントログ	次の重大度レベルに基づくフィルターイベントログ <ul style="list-style-type: none"> • 情報 • 警告 • エラー
ファイルのエクスポート	<ol style="list-style-type: none"> a. [エクスポート] をクリックします。 ファイルエクスプローラーウィンドウが開きます。 b. 保存するドキュメントのファイル名を指定します。 c. [Save (保存)] をクリックします。 QuRouter は、ログを CSV ファイルとしてエクスポートします。
ログファイルの削除	<ol style="list-style-type: none"> a. [消去] をクリックします。 確認メッセージが表示されます。 b. [消去] をクリックします。

QuRouter により、指定したタスクが実行されます。

システム設定

デバイス名を編集する

1. QuRouter にログインします。
2. [システム] > [システム設定] > [デバイス名の設定] に進みます。


3.  をクリックします。
デバイス名の編集ウィンドウが開きます。
4. デバイス名は次のグループの中から 3~15 文字を含む必要があります。
有効な文字：A~Z、a~z、0~9
5. **[OK]** をクリックします。

QuRouter がデバイス名を更新します。

再起動、リセット、バックアップ、復元

QuRouter システム設定は、ルーターの再起動、リセット、バックアップ、復元動作を遠隔から制御できません。

ルーターの再起動

1. 以下のいずれかの方法でルーターを再起動します。
 - ・ システム設定
 1. **[システム]** > **[システム設定]** > **[再起動/リセット/バックアップ/復元]** に進みます。
 2. **[再起動]** をクリックします。
確認のメッセージが表示されます。
 3. **[OK]** をクリックします。
 - ・ QMiro デバイス
 1. **[QMiro デバイス]** に進みます。
 2. ルーターを見つけます。
 3.  をクリックします。
設定 - [デバイス名]-[位置情報] ウィンドウが表示されます。
 4. **[再起動]** をクリックします。
確認のメッセージが表示されます。
 5. **[OK]** をクリックします。

QuRouter はデバイスを再起動します。


ルーターをリセットする

ルーターをリセットし、デバイスをデフォルトの状態に戻します。

1. 以下のいずれかの方法でルーターをリセットします。
 - ・ システム設定
 1. **[システム]** > **[システム設定]** > **[再起動/リセット/バックアップ/復元]** に進みます。
 2. **[リセット]** をクリックします。
確認のメッセージが表示されます。

3. **[OK]** をクリックします。

・ QMiro デバイス

1. **[QMiro デバイス]** に進みます。
2. ルーターを見つけます。
3.  をクリックします。
設定 - [デバイス名]-[位置情報] ウィンドウが表示されます。
4. **[リセット]** をクリックします。
確認のメッセージが表示されます。
5. **[OK]** をクリックします。

QuRouter は、デバイスをデフォルト設定にリセットし、ルーターは QNAP ID との紐付けが切れます。



重要

プライマリデバイスをリセットすると、メッシュネットワークの全ノードをリセットします。

システム設定のバックアップ

1. **[システム]** > **[システム設定]** > **[再起動/リセット/バックアップ/復元]** に進みます。
2. **[バックアップ]** をクリックします。

このデバイスは、システム設定を BIN ファイルとしてエクスポートし、そのファイルをコンピューターにダウンロードします。

システム設定の復元



警告

選択したバックアップファイルにデバイス上にすでに存在するユーザーまたはユーザーグループの情報が含まれている場合、システムは重複情報を上書きします。

1. **[システム]** > **[システム設定]** > **[再起動/リセット/バックアップ/復元]** に進みます。
2. **[復元]** の下で **[参照]** をクリックします。
ファイルエクスプローラーウィンドウが開きます。
3. デバイスシステム設定を含む正しい BIN ファイルを選択します。
4. **[復元]** をクリックします。


QuRouter はルーター設定を復元します。

アクセス制御の設定

アクセス制御設定は、デバイスがルーターにどのように接続されるかを制御します。これらの設定により、ネットワークセキュリティを高め、セキュリティ上の脅威を最小化します。

1. QuRouter にログインします。
2. **[システム]** > **[アクセス制御]** > **[アクセス制御設定]** に進みます。


3. アクセス制御設定を有効にします。

設定	ユーザーのアクション
HTTP によるローカル管理	有効にすることで、HTTPS でない接続でルーターのウェブインターフェイスにリモートアクセスできます。  注 HTTP 接続は、Hypertext Transfer Protocol Secure (HTTPS) よりも高速ですが、送信内容は暗号化されません。
遠隔管理	有効にすることで、管理者は WAN IP アドレスでルーターのウェブインターフェイスにリモートアクセスできます。

ローカルアカウントの設定



注
 デフォルトのルーターアカウントは管理者アカウントです。管理者アカウントは削除できません。

1. QuRouter にログインします。
2. [システム] > [アクセス制御] > [管理者] に進みます。
3.  をクリックしてローカルアカウントの資格情報を設定します。
ローカルアカウントウィンドウが開きます。
4. ローカルアカウントの設定

説明	ユーザーのアクション
ユーザー名	5~32 文字でユーザー名を指定します。 有効な文字：A~Z、a~z、0~9
現在のパスワード	ローカルアカウントの現在のパスワードを入力します。
新しいパスワード	8~64 の ASCII 文字を含むパスワードを入力します。
新しいパスワードの確認入力	パスワードをもう一度入力します。

5. [OK] をクリックします。

QuRouter がローカルアカウント設定を更新します。

ファームウェア

QNAP は、ルーターのファームウェアを最新に保つことを推奨しています。これにより、お使いのルーターは新機能、強化、バグフィックスの恩恵を受けることができます。

ライブ更新の確認

1. [ファームウェア] に進みます。
2. [ライブ更新] を有効にします。
3. 次のオプションを 1 つまたは複数選択します。

- ・ **今すぐ更新**
- ・ **更新予定時間**



注
ファームウェアの更新を予定する日時を選択します。

4. **[適用]** をクリックします。
確認のメッセージが表示されます。
5. **[適用]** をクリックします。

QuRouter がファームウェア更新を確認します。

ファームウェアの手動更新

アップデートは、ハードウェア構成やネットワーク接続によって数分かそれ異常を要します。

1. ルーターファームウェアをダウンロードします。
2. <http://www.qnap.com/download> に移動します。
 - a. お使いのルーターモデルを選択します。
 - b. リリースノートを読み、次の事項を確認します。
 - ・ ルーターモデルはファームウェアバージョンに対応。
 - ・ ファームウェアのアップデートが必要。
 - c. 製品名とファームウェアが正しいことを確認します。
 - d. ファームウェアパッケージをダウンロードします。
 - e. ファームウェアのパッケージファイルを取り出します。
3. **[ファームウェア]** に進みます。
4. **[手動更新]** を選択します。
5. **[参照]** をクリックしてから、取り出すファームウェアパッケージファイルを選択します。
6. **[適用]** をクリックします。

デバイスがすぐに再起動します。

7. ネットワーク設定

WAN ポートを設定する

1. QuRouter にログインします。
2. [ネットワーク] > [WAN] に進みます。
3. ポート設定を行います。
4. 次のオプションから WAN インターフェイス設定を選択します。

設定	ユーザーのアクション
DHCP	DHCP から IP アドレス設定を自動的に取得する場合に選択します
スタティック IP	スタティック IP アドレスを手動で割り当て次の情報を指定する必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> • 固定 IP アドレス • サブネットマスク • デフォルトゲートウェイ • DNS サーバー 1 • DNS サーバー 2
PPPoE	PPPoE (イーサネットを経由したポイントツーポイントプロトコル) のユーザー名とパスワードを指定するにはこれを選択します。

5. MTU 値を 98~9000 の間で指定します。



注


最大転送単位 (MTU) は、ネットワークが転送できる最大のパケットサイズです。


6. [適用] をクリックします。

QuRouter が WAN の設定を更新します。

LAN ポートを設定する

1. QuRouter にログインします。
2. [ネットワーク] > [LAN] に進みます。
3. LAN の IP を設定します。

設定	ユーザーのアクション
固定 IP アドレス	固定 IP アドレスを指定します。  ヒント これらの設定に関する最良の方法を知るには、ご自身のネットワーク設定を調べてください。
サブネットマスク	IP アドレスを分割するサブネットマスクを指定します。

設定	ユーザーのアクション
DHCP サーバーを有効にする	DHCP サーバー設定を行います。 <ul style="list-style-type: none"> • 開始 IP アドレス: DHCP クライアントに割り当てられている範囲内の開始 IP アドレスを指定します。 • 終了 IP アドレス: DHCP クライアントに割り当てられている範囲内の終了 IP アドレスを指定します。 • リース時間: IP アドレスが DHCP クライアントに割り当てられている時間を指定します。リース時間が切れるとその IP アドレスは他のクライアントに使用されます。 • DNS サーバー設定を行います。 <ul style="list-style-type: none"> • 固定 IP アドレスを使用: 固定 IP アドレスで割り当てられた同じ IP アドレスを使用する場合に選択します。 • 手動: DNS サーバーの IP アドレスを手動で設定します。 <p> 注 QNAP では URL ルックアップができるよう少なくとも 1 つの DNS サーバーを指定することをお勧めします。</p>
予約済み IP テーブル	<p>[追加] をクリックして予約済み IP テーブルを設定します。以下を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • デバイス名 • IP アドレス • MAC アドレス

4. **[適用]** をクリックします。

QuRouter が LAN ポート設定を更新します。

ルーティングテーブル情報の表示


1. QuRouter にログインします。
2. **[ネットワーク]** > **[ルーティング]** に進みます。
3. 設定されたルートエントリを次のソースから表示します。
 - 直接接続されたネットワーク
 - ダイナミックルーティングプロトコル
 - スタティック設定経路

静的ルート

静的ルートは、ネットワーク設定の「**静的ルート**」セクションで作成と管理ができます。通常の下況下では、インターネットアクセスの設定が行われた後に QuRouter は自動的に経路情報を取得します。静的ルートは通常は不要ですが、ネットワーク内に複数 IP サブネットがあるような特殊な下況では必要になります。

スタティックルートの追加


1. QuRouter にログインします。
2. [ネットワーク] > [ルーティング] > [スタティックルート] に進みます。
3. [スタティックルートの追加] をクリックします。
スタティックルートの追加ウィンドウが開きます。
4. 設定を行います。

設定	ユーザーのアクション
宛先	接続がルーティングされる場所のスタティック IP アドレスを指定します。
サブネットマスク	デスティネーションのネットサブネットマスクの IP アドレスを指定します。
ネクストホップ	以下のネクストホップオプションからお選びください。 <ul style="list-style-type: none"> • WAN ポート: このルーティング経路で利用できる WAN ポートの IP アドレスを選択します。 • IP アドレス: ルーティング経路でもっとも近いあるいは最適なルーターの IP アドレスを指定します。
メトリック	経路が通過するノードの数を指定します。  注 メトリックは、ルーターが接続先ネットワークへの最適経路を決定する際に使われるコスト値です。
説明	ここにスタティックルートの説明を入力します。

5. [適用] をクリックします。

QuRouter がスタティックルートを作成します。

スタティックルートの設定


1. QuRouter にログインします。
2. [ネットワーク] > [ルーティング] > [スタティックルート] に進みます。
3. スタティックルートを認識します。
4.  をクリックします。
スタティックルートの編集ウィンドウが開きます。
5. 静的ルートを設定します。
詳細は、[スタティックルートの追加](#) をご覧ください。
6. [適用] をクリックします。

QuRouter がスタティックルート設定を更新します。

スタティックルートの削除

1. QuRouter にログインします。
2. [ネットワーク] > [ルーティング] > [スタティックルート] に進みます。

3. スタティックルートを認識します。

4.  をクリックします。
確認メッセージが表示されます。

5. [適用] をクリックします。

QuRouter がスタティックルートを削除します。

ワイヤレス

ワイヤレス設定により、2.4 GHz と 5 GHz 帯域を使用してワイヤレスネットワークを展開し、ゲスト用ワイヤレスネットワークを展開し、高度なワイヤレス設定を行い、WPS 機能を有効にします。


ワイヤレスネットワークの設定

1. QuRouter にログインします。
2. [ワイヤレス] に進みます。
3. ワイヤレスネットワークを設定します。

設定	ユーザーのアクション
スマート接続を有効にする	2.4 GHz および 5 GHz ネットワークに対し同じ SSID とパスワードを認めるようにします。
SSID	ワイヤレスネットワーク SSID を指定します。
セキュリティ	次のセキュリティ認証方法のいずれか 1 つを選択してください。 <ul style="list-style-type: none"> • WPA2-PSK • WPA-PSK+WPA2-PSK • WPA - エンタープライズ • WPA2 - エンタープライズ <div style="border-left: 2px solid #0070C0; padding-left: 10px; margin-top: 10px;"> <p>注 セキュリティ認証方法が WPA - エンタープライズまたは WPA2 - エンタープライズの場合、Remote Authentication Dial-In User Service (RADIUS) サーバーの IP アドレスとサーバーポート番号を入力します。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> • WPA2-PSK / WPA3-Personal • OWE
パスワード	8~63 文字でパスワードを指定します。 <div style="border-left: 2px solid #0070C0; padding-left: 10px; margin-top: 10px;"> <p>注 パスワードは大文字と小文字を区別します。</p> </div>
ワイヤレススケジューラーを有効にする	VAP グループを有効にするために、指定の日時期間を選択します。
バンド ステアリングを有効にする	有効にすると、ワイヤレスクライアントを利用できる最良の帯域を利用するワイヤレスネットワークに自動的に再ルーティングします。

設定	ユーザーのアクション
MU-MIMO を有効にする	マルチインプット・マルチアウトプット技術 (MU-MIMO) を有効にすると、ルーターは複数のワイヤレスデバイスと同時に通信できるようになります。
送信出力	MU-MIMO 送信出力を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • 高 • 中 • 低
プリアンブルタイプ	プリアンブルタイプを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • 短 • 長
CTS/RTS を有効にする	CTS/RTS 値を 1~2347 の間で指定します。
DFS チャンネルを有効にする	レーダー信号との干渉を避けるため、Dynamic Frequency Selection (DFS) を有効にします。

4. 2.4 GHz および 5 GHz 帯の設定を行います。

設定	ユーザーのアクション
帯域幅	次の帯域の帯域幅を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • 2.4 GHz: <ul style="list-style-type: none"> • 20 MHz • 40 MHz • 5 GHz - 1 および 5 GHz - 2: <ul style="list-style-type: none"> • 20 MHz • 40 MHz • 80 MHz
チャンネル	使用する周波数が少ない DFS チャンネルを選択します。 <p> 注 デフォルトでは、無線周波数の干渉を避けるためにチャンネルは自動に設定されています。</p>




5. **[適用]** をクリックします。

QuRouter がワイヤレスネットワーク設定を更新します。


ゲスト用ワイヤレスネットワークの設定

1. QuRouter にログインします。
2. **[ワイヤレス]** > **[ゲスト用ワイヤレスネットワーク]** に進みます。
3. **[有効にする]** を選びます。
QuRouter がゲスト用ワイヤレスネットワークを有効にします。

4. ゲスト用ワイヤレスネットワークを設定します。

設定	ユーザーのアクション
SSID	<p>最大 32 文字を含む Service Set Identifier (SSID) を指定します。</p> <p> 注 SSID は大文字と小文字を区別します。</p>
セキュリティ	<p>次のセキュリティ認証方法のいずれか 1 つを選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • WPA2-PSK • WPA-PSK+WPA2-PSK • WPA - エンタープライズ • WPA2 - エンタープライズ <p> 注 セキュリティ認証方法が WPA - エンタープライズまたは WPA2 - エンタープライズの場合、Remote Authentication Dial-In User Service (RADIUS) サーバーの IP アドレスとサーバーポート番号を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • WPA2-PSK / WPA3-Personal • OWE
パスワード	<p>8~63 文字でパスワードを指定します。</p> <p> 注 パスワードは大文字と小文字を区別します。</p>
ゲスト用ワイヤレス IP アドレス	ゲスト用ワイヤレスネットワークに固定 IP アドレスを指定します。
サブネットマスク	IP アドレスを分割するサブネットマスクを指定します

5. ゲスト用ワイヤレス DHCP サーバーを設定します。


設定	ユーザーのアクション
開始 IP アドレス	DHCP クライアントに割り当てられている範囲内の開始 IP アドレスを指定します。
終了 IP アドレス	DHCP クライアントに割り当てられている範囲内の終了 IP アドレスを指定します。
DNS サーバー 1	DHCP サーバー用の DNS サーバーを指定します。
DNS サーバー 2	<p>DHCP サーバー用のセカンダリ DNS サーバーを指定します。</p> <p> 重要 QNAP では URL ルックアップができるよう少なくとも 1 つの DNS サーバーを指定することをお勧めします。</p>

6. [適用] をクリックします。

QuRouter がゲスト用ワイヤレスネットワーク設定を保存します。

Wi-Fi Protected Setup (WPS) の設定

1. QuRouter にログインします。

2. [ワイヤレス] > [WPS] に進みます。
3.  をクリックします。
QuRouter が WPS 機能を有効にします。
4. WPS 設定を行います。
 - a. ドロップダウンメニューから WPS SSID を選択します。
 - b. [WPS] をクリックします。

**注**

ルーターの押しボタンで WPS を有効にするには、WPS トピックをご覧ください。

- c. クライアントデバイスの WPS 機能を有効にします。

**注**

- クライアントデバイスに WPS 機能が備わっていることを確認してください。通常は、この機能は Wi-Fi 設定ページにあります。
- 場所と機能名称は製品によって異なります。

QuRouter がクライアントデバイスをワイヤレスネットワークに追加します。


クライアント一覧とブロック済クライアント一覧

クライアント一覧は、ルーターネットワークに接続されている有線および無線のクライアントへのアクセスを可能にします。クライアントの追加と削除はブロックリストから行えます。

ブロック済リストは、有線および無線のサービスへのアクセスをブロックされているクライアントの管理を行います。

デバイスをブロックリストに追加する

1. QuRouter にログインします。
2. [クライアント] > [ブロックリスト] に進みます。
3. [クライアントをブロックする] をクリックします。
デバイスをブロックリストに追加ウィンドウが開きます。
4. 設定を行います。


設定	ユーザーのアクション
説明	デバイスの説明を指定します。  注 <ul style="list-style-type: none"> • 説明は 1 - 20 文字である必要があります。 • 有効な文字：A~Z、a~z、0~9 • 許される記号：ハイフン (-), アンダースコア (_), ピリオド (.)
MAC アドレス	デバイスの MAC アドレスを指定します。

5. インターフェイスを選択します。
6. **[適用]** をクリックします。


QuRouter がそのデバイスをブロックリストに追加します。



ヒント


[クライアント] 内のクライアント名横の  をクリックすることで、クライアントをブロックすることもできます。

デバイスをブロックリストに設定する

1. QuRouter にログインします。
2. **[クライアント]** > **[ブロックリスト]** に進みます。
3. デバイスを認識します。
4.  をクリックします。
ブロックリストデバイスの編集ウィンドウが表示されます。
5. デバイス設定を行います。
詳細は、[デバイスをブロックリストに追加する](#) をご覧ください。
6. **[適用]** をクリックします。

QuRouter がデバイス情報を更新します。

デバイスをブロック済リストから削除する

1. QuRouter にログインします。
2. **[クライアント]** > **[ブロックリスト]** に進みます。
3. デバイスを認識します。
4.  をクリックします。
確認メッセージが表示されます。
5. **[適用]** をクリックします。

QuRouter がそのデバイスをブロックリストから削除します。

ワイヤレスメッシュネットワーク

QuRouter は、他の QMiro シリーズデバイスをローカルネットワークポロジに追加することでワイヤレスメッシュネットワークを作成できます。プライマリルーターは、ネットワークの他のノードと接続して互いに通信し、クライアント間でデータを受け渡します。ワイヤレスメッシュネットワークは、ユーザーの要求を満たし、ユーザーの接続性を維持するよう、ダイナミックに調整します。

メッシュネットワークのコンポーネント

- **プライマリ**：プライマリデバイスは、ローカルネットワークポロジ内で初めて初期化されるルーターです。このデバイスは、ネットワーク内の他のノードデバイスの間で通信プロトコルとデータのルーティングを制御します。

- ノード：ノードは、ローカルネットワークトポロジー内でプライマリルーターに追加される 2 次的デバイスです。



ヒント

1つのワイヤレスメッシュネットワークには最大 4 つのルーターを追加できます。


ノードをメッシュネットワークに追加する

1. QuRouter にログインします。
2. [QMiro デバイス] に進みます。
3. [ノードの追加] をクリックします。
ノードの追加ウィンドウが表示されます。
4. 一覧からルーターを選択します。
5. [次へ] をクリックします。
6. Wi-Fi ポイントを選択します。
7. [適用] をクリックします。

QuRouter がそのノードをメッシュネットワークに追加します。

ノードをワイヤレスメッシュネットワークから削除する

ノードをスタンドアロンのルーターとして設定する場合は、それをワイヤレスメッシュネットワークから削除する前にノードをリセットする必要があります。

1. QuRouter にログインします。
2. [QMiro デバイス] に進みます。
3. ノードを見つけます。
4.  をクリックします。
設定ウィンドウが開きます。
5. [リセット] をクリックします。
確認メッセージが表示されます。
6. [OK] をクリックします。

QuRouter は、ノードをリセットし、それをワイヤレスメッシュネットワークから削除します。

SD-WAN

QuWAN について

QuWAN は、QNAP クラウドベースの SD-WAN ネットワーキングソリューションで、そのプライベートネットワークトポロジー内のデバイスのネットワーク機能を管理するために集中化された制御プラットフォームを提供します。QuWAN は、WAN ネットワーク全体のトラフィックをインテリジェントかつセキュアな形で統率します。

お客様は、ルーターの SD-WAN 設定を行い、QuWAN Orchestrator にアクセスして SD-WAN オーバーレイネットワークを管理できます。

QuWAN の設定

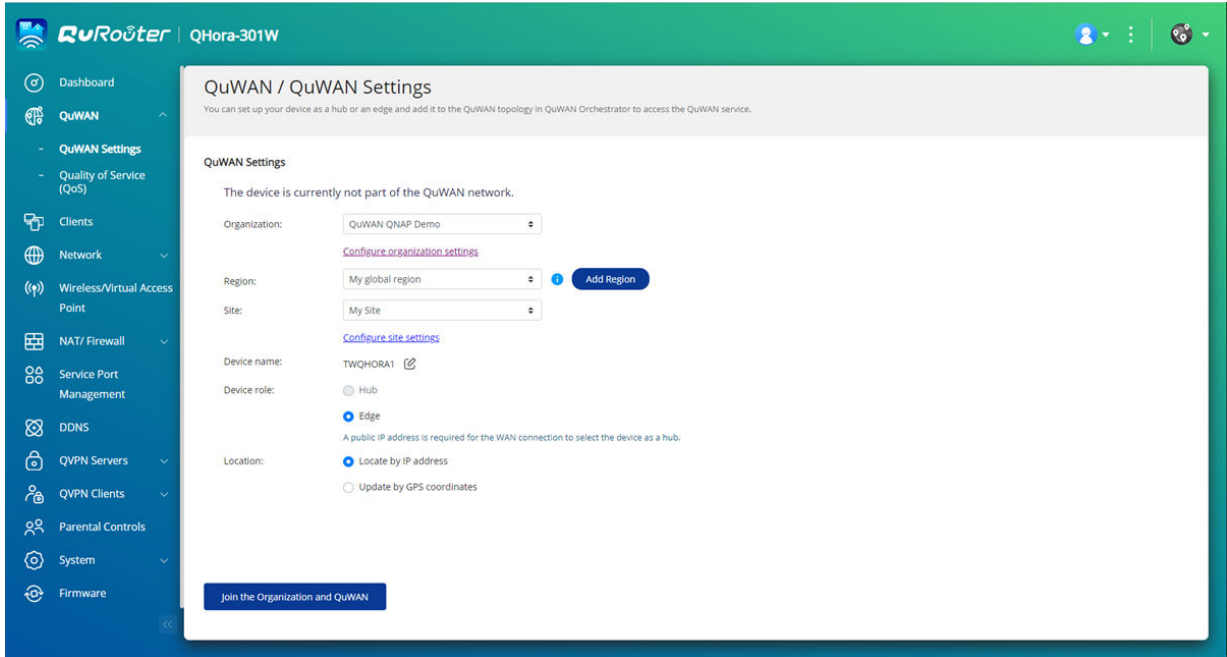
1. QuRouter にログインします。



注

ご自分の QNAP ID で初めてログインする場合、2 段階認証プロセスのためにローカルアカウントの資格情報を入力するよう求められます。

2. [QuWAN] > [QuWAN 設定] に進みます。
3. QuWAN の設定を行います。



設定	ユーザーのアクション
組織	<p>ご自分の QNAP ID に対応している組織を選択します。</p> <p>注 ご自分の QNAP ID に対応している組織がない場合は、[組織を作成または編集] をクリックします。QuRouter が新しい組織の作成または既存の組織の編集を行える QNAP アカウントウェブサイトへリダイレクトします。</p>
リージョン	<p>選択した組織とリンクされているリージョンを選択します。[リージョンの追加] をクリックして新しいリージョンを作成します。</p>
サイト	<p>ドロップダウンメニューからサイトを選択します。</p> <p>注 [サイトを作成または編集] をクリックし、選択した組織に対応する新しいサイトを作成するかまたは既存のサイトを編集します。</p>
デバイス名	<p>次のグループの中から 3~15 文字を含む一意のデバイス名を指定します。 有効な文字：A~Z、a~z、0~9</p>

設定	ユーザーのアクション
デバイスロール	<p>次のいずれかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ハブ: SD-WAN ハブとなるデバイスを設定します。デバイスをハブとして選択するには、WAN 接続のパブリック IP アドレスが必要です。 • エッジ: SD-WAN エッジとなるデバイスを設定します。 <p>重要</p> <ul style="list-style-type: none"> • 組織の NAT 背後のデバイスには、エッジのデバイスロールだけが割り当てられます。 • QuWAN Orchestrator は、ハブのロールを組織に最初に追加されたデバイスに、それがパブリック IP アドレスをもっている場合のみ、ハブのロールを自動的に割り当てます。 • QuWAN デバイスがプライベート IP アドレスを使用している場合は、QuRouter を用いてエッジのデバイスロールだけを割り当てることができます。QuWAN デバイスの前にあるルーターでポートフォワーディングを有効にしている場合、QuWAN Orchestrator 内でデバイスロールをエッジからハブに変更できます。
場所	<p>次のいずれかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • IP アドレスで検索する • GPS 座標で更新する

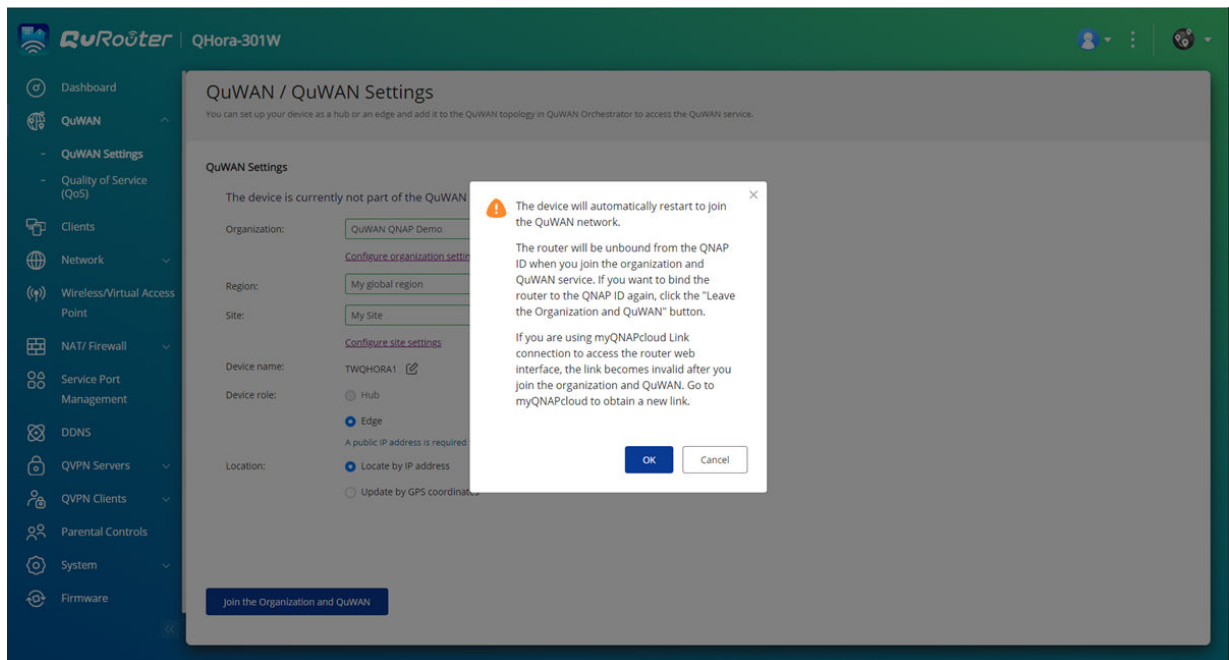
4. [組織と QuWAN に参加する] をクリックします。



重要

- ルーターはそれが QuWAN トポロジーの一部になった時点で QNAP ID との紐付けが切れま
- す。
- QNAP ルーターは 30 までの VPN トンネルをサポートします。

確認メッセージが表示されます。



5. **[OK]** をクリックします。

QuRouter が QuWAN トポロジをルーターに追加します。

QuWAN Orchestrator にアクセスする

1. QuRouter を開きます。
2.  タスクバーの  をクリックします。
3. **[QuWAN Orchestrator に移動]** をクリックします。
QuWAN Orchestrator が新しいブラウザタブで開きます。

QVPN

QVPN により、VPN サーバーの作成と管理、VPN クライアントの追加、VPN ログの監視が可能になります。

QVPN サーバーの設定

QuRouter は、QNAP ルーターを VPN サーバーとして設定できるようにします。複数の仮想サーバーを設定し、VPN サービスをホストし、組織のユーザーに提供することができます。





注
QNAP ルーターは、30 までの VPN トンネルをサポートします。





QBelt VPN サーバーを有効にする

QBelt は、QNAP の独自通信プロトコルで、Datagram Transfer Layer Security (DTLS) プロトコルと AES-256 暗号を組み込んでいます。

1. QuRouter にログインします。
2. [QVPN サーバー] > [QVPN 設定] に進みます。
3.

QBelt の下で、 をクリックします。
4.

 をクリックします。
QVPN 設定ウィンドウが表示されます。
5. Qbelt サーバーを設定します。


設定	説明
クライアント IP プール	<p>VPN クライアントで使用可能な IP アドレスの範囲を指定します。</p> <p> 重要 デフォルトでは、このサーバーは IP アドレス 198.18.2.2~198.18.2.254 間の使用を前提とします。この範囲を使用する別の接続が設定されている場合は、IP コンフリクトエラーが発生します。このサーバーを追加する前に、VPN クライアントがその範囲で使われるように設定していないことを確認してください。</p>
サービスポート (UDP)	<p>サーバーにアクセスするために使用するポートを選択します。</p> <p> 注 デフォルトのポート番号: 4433</p>
事前共有キー	<p>VPN クライアントの接続を確認する事前共有キー (パスワード) を指定します。</p> <p> ヒント 事前共有キーの要件:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 長さ: 8~16 ASCII 文字 • 有効な文字: A~Z、a~z、0~9
DNS	<p>QBelt サーバー用の DNS サーバーを指定します。</p> <p> 注 DNS サーバーの制限はデフォルトで 1 です。</p>

6. [適用] をクリックします。

QuRouter が QBelt サーバー設定を保存します。

L2TP VPN サーバーを有効にする

1. QuRouter にログインします。
2. [QVPN サーバー] > [QVPN 設定] に進みます。
3.

L2TP の下にある  をクリックします。



重要

ルーターが QuWAN サービスを仕様している場合は、L2TP サーバーは有効にできません。L2TP サーバーを有効するには、[QuWAN] > [QuWAN 設定] に進み、[組織と QuWAN から抜ける] をクリックします。

4.



をクリックします。

QVPN 設定 ウィンドウが表示されます。

5. L2TP サーバーを設定します。

設定	説明
クライアント IP プール	VPN クライアントで使用可能な IP アドレスの範囲を指定します。 <div style="border-left: 2px solid red; padding-left: 10px; margin-top: 10px;"> <p>重要</p> <p>デフォルトでは、このサーバーは IP アドレス 198.18.3.2~198.18.3.254 間の使用を前提とします。この範囲を使用する別の接続が設定されている場合は、IP コンフリクトエラーが発生します。このサーバーを追加する前に、VPN クライアントがその範囲で使われるように設定していないことを確認してください。</p> </div>
認証	次の認証方法のいずれか 1 つを選択してください。 <ul style="list-style-type: none"> • PAP • MS-CHAPv2
事前共有キー	VPN クライアントの接続を確認する事前共有キー (パスワード) を指定します。 <div style="border-left: 2px solid orange; padding-left: 10px; margin-top: 10px;"> <p>ヒント</p> <p>事前共有キーの要件:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 長さ: 8~16 ASCII 文字 • 有効な文字: A~Z、a~z、0~9 </div>
DNS	L2TP サーバー用の DNS サーバーを指定します。 <div style="border-left: 2px solid blue; padding-left: 10px; margin-top: 10px;"> <p>注</p> <p>DNS サーバーの制限はデフォルトで 1 です。</p> </div>

6. [適用] をクリックします。

QuRouter が L2TP サーバー設定を保存します。

OpenVPN VPN サーバーを有効にする


1. QuRouter にログインします。

2. [QVPN サーバー] > [QVPN 設定] に進みます。




3.




OpenVPN の下で をクリックします。

4.  をクリックします。
QVPN 設定 ウィンドウが表示されます。


5. OpenVPN サーバーを設定します。


設定	説明
クライアント IP プール	VPN クライアントで使用可能な IP アドレスの範囲を指定します。  重要 デフォルトでは、このサーバーは IP アドレス 198.18.4.2~198.18.4.254 間の使用を前提とします。この範囲を使用する別の接続が設定されている場合は、IP コンフリクトエラーが発生します。このサーバーを追加する前に、VPN クライアントがその範囲で使われるように設定していないことを確認してください。
サービスポート	以下のオプションからお選びください。 <ul style="list-style-type: none"> • TCP • UDP  注 デフォルトのポート番号: 1194
暗号化	次の暗号手法から選びます。 <ul style="list-style-type: none"> • 中 (AES 128 ビット) • 高 (AES 256 ビット)
DNS	OpenVPN サーバー用の DNS サーバーを指定します。  注 DNS サーバーの制限はデフォルトで 1 です。

6. **[この接続をリモートデバイスに対するデフォルトゲートウェイとして使用]** を有効化します。

 **注**
 デフォルトネットワークゲートウェイが OpenVPN サーバーを越えてリダイレクトされることの許可を有効にします。クライアントからの非ローカルトラフィックはすべて、VPN サーバーを通じて転送されます。

7. **[圧縮 VPN リンクを有効にする]** を有効化します。

 **注**
 この設定は、VPN 経由で転送する前にデータを圧縮します。これによりデータ転送スピードが上がりますが、CPU リソースをさらに必要とします。

8. **[適用]** をクリックします。
 QuRouter が OpenVPN サーバー設定を保存します。
9. 任意:  をクリックして設定ファイルをダウンロードし、OpenVPN サーバーを手動で設定します。

VPN ユーザーの追加

1. QuRouter を開きます。
2. [QVPN サーバー] > [QVPN ユーザ管理] に進みます。
3. [追加] をクリックします。
4. ユーザー名とパスワードを指定します。



ヒント

8 から 16 文字で、少なくともひとつの文字 (A-Z、a-z) とひとつの数字 (0-9) を含むパスワードを指定してください。

5. [適用] をクリックします。

QuRouter が VPN ユーザを追加します。

QVPN クライアント設定

QVPN クライアントは、OpenVPN プロトコルを用いてルーターが VPN サーバーにリモート接続できるようにします。




重要

- OpenVPN 接続を追加する場合は、その接続を確立するために OpenVPN 設定ファイルが必要です。
- QVPN クライアントサービスを有効にするには、QVPN サーバーサービスと QuWAN サービスを無効にしてください。

OpenVPN 接続プロファイルの作成

1. QuRouter を開きます。
2. [QVPN クライアント] > [QVPN 接続プロファイル] に進みます。
3. [プロファイルの追加] をクリックします。
OpenVPN 接続の作成ウィンドウが表示されます。
4. OpenVPN 接続プロファイルを設定します。

設定	ユーザーの操作
OpenVPN 接続プロファイル	OpenVPN 設定ファイルを追加します。 <ol style="list-style-type: none"> a. [参照] をクリックします。 ファイルエクスプローラーウィンドウが開きます。 b. OpenVPN 構成ファイルを検索します。 c. [開く] をクリックします。
OpenVPN 接続プロファイル名	このプロファイルの特定に役立つ名前を指定してください。
ユーザー名	VPN サーバーにアクセスするためのユーザー名を指定します。


設定	ユーザーの操作
パスワード	<p>VPN サーバーにアクセスするためのパスワードを指定します。</p> <p> ヒント パスワードの要件</p> <ul style="list-style-type: none"> 長さ：1～64 ASCII 文字 有効な文字：A～Z、a～z、0～9

5. 選択サーバーを再起動した後、自動的に OpenVPN と再接続されます。

6. [OK] をクリックします。


QuRouter が QVPN 接続プロファイルを追加します。

QVPN クライアントサービスを有効にする

1. QuRouter を開きます。
2. [QVPN クライアント] > [QVPN 接続プロファイル] に進みます。
3. アクティブなプロファイルを選択します。
4.  をクリックします。

QuRouter が QVPN クライアントサービスを有効にします。

QVPN 接続プロファイルを削除する

1. [QVPN クライアント] > [QVPN 接続プロファイル] に進みます。
2. 接続プロファイルを識別します。
3.  をクリックします。
確認メッセージが表示されます。
4. [はい] をクリックします。

QuRouter が QVPN 接続プロファイルを削除します。



注
アクティブな QVPN 接続プロファイルを削除すると、自動的に QVPN クライアントサービスが無効になります。

QVPN ログの管理

QuRouter レコードアクションで、QVPN サーバーとクライアントで実施されます。記録される情報とは、接続日、接続時間、クライアント名、ソース IP アドレス、プロトコル情報が含まれます。

オプション	UI パス
QVPN サーバーログ	[QVPN サーバー] > [ログ]。

オプション	UI パス
QVPN クライアント ログ	[QVPN クライアント] > [QVPN 接続ログ]。

1. QVPN ログを消去するには、[ログの消去] をクリックします。
確認メッセージが表示されます。
2. [はい] をクリックします。


QuRouter が QVPN ログを消去します。

サービスポート管理

サービスポート管理機能は、ルーター上のカスタムネットワークサービスポートを簡単に管理できるようにします。外部アプリケーションやデバイスとの通信用にカスタムサービスを追加できます。

カスタムサービスポートの追加


1. QuRouter を開きます。
2. [サービスポート管理] に進みます。
3. [カスタムサービスの追加] をクリックします。
カスタムサービスの追加ウィンドウが開きます。
4. カスタムサービス情報を指定します。

設定	ユーザーの操作
サービス名	サービスの名前を指定してください。
プロトコル	以下のネットワークトランスポートプロトコルから選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • All (TCP+UDP) • TCP • UDP • ESP
WAN サービスポート	<p>ポート番号を指定します。</p> <p> ヒント</p> <ul style="list-style-type: none"> • ポートは、1~65535 である必要があります。 • このフィールドは、最大 15 ポートまで指定できます。 • 複数のポートは、カンマ (,) で区切ります。 • ポートの範囲は、空白を空けずにハイフン (-) を使用して指定します。
説明	カスタムサービスの説明を追加します。

5. [保存] をクリックします。

QuRouter がカスタムサービスポートを追加します。

カスタムサービスポートの削除

1. QuRouter を開きます。
2. [サービスポート管理] に進みます。
3. カスタムサービスポートを識別します。
4.  をクリックします。
確認メッセージが表示されます。
5. [はい] をクリックします。

QuRouter がカスタムサービスポートを削除します。


DDNS 設定

Dynamic DNS Service (DDNS) は、IP アドレスの代わりにドメイン名を用いてルーターにインターネットアクセスを可能にするものです。これは、クライアント ISP が IP の割り当てを変更したとしてもルーターにアクセス可能にします。

DDNS (My DDNS) 設定を行う

1. QuRouter を開きます。
2. [DDNS 設定] に進みます。
3. [DDNS 設定] をクリックします。
WAN インターフェイスを選択ウィンドウが開きます。
4. WAN インターフェイスを選択します、

設定	ユーザーのアクション
WAN インターフェイス	構成済 WAN ポートを選択します。
スタティック IP	固定 IP アドレスを手動で割り当てます。
自動 DHCP IP アドレスを取得	ネットワークが DHCP をサポートする場合、アダプターは IP アドレスとネットワーク設定を自動的に取得します。

5. [OK] をクリックします。
QuRouter が DDNS の設定を更新します。
6.  をクリックします。

QuRouter が DDNS サービスを有効にします。

DDNS ドメイン名を変更する

デバイスにアクセスするために使用されているアドレスを変更するには、DDNS ドメイン名を編集します。

1. QuRouter にログインします。
2. [DDNS 設定] に進みます。
3. [ドメイン名の編集] をクリックします。

デバイス名の編集ウィンドウが開きます。

4. DDNS ドメイン名を入力します。



注

myQNAPcloud ドメイン名は、3～15 文字で英文字 (A-Z、a-z) および数字 (0-9) でなければなりません。

5. **[OK]** をクリックします。

QuRouter が DDNS ドメイン名を更新します。

8. セキュリティ設定

ネットワークアドレstransレーション (NAT)

NAT により、プライベートネットワークでインターネットに接続する際に未登録の IP アドレスを使うことができます。NAT はパケットを別のネットワークに転送する前に、内部ネットワークのプライベート IP アドレスをパブリック IP アドレスに変換します。

アプリケーションレイヤゲートウェイ (ALG)

ALG 機能により、特定のアプリケーションレイヤプロトコルでのトランスペアレントなネットワーク変換を導入できます。NAT ALG は次のプロトコルに対応しています。

- ファイル転送プロトコル (FTP)
- ポイントツーポイントトンネリングプロトコル (PPTP)
- セッションイニシエーションプロトコル (SIP)


プロトコル名の横にあるスイッチを有効にすることで、各プロトコルに対する機能を有効にできます。

ポートフォワーディング

ルーター上の受信および送信トラフィックをネットワークに接続されているデバイスに向けるために使用できる、ポートフォワーディングルールを設定します。

ポートフォワーディングルールの追加


1. [NAT] > [ポートフォワーディング] に進みます。
2. [ルールの追加] をクリックします。
ルールの追加ウィンドウが開きます。
3. ルール設定を行います。

設定	ユーザーの操作
プロトコル	以下のオプションからお選びください。 <ul style="list-style-type: none"> • すべて • TCP • UDP
WAN サービスポート	ルールに対してサービスを指定します。
ホスト IP アドレス	LAN IP アドレスを指定します。
LAN サービスポート	LAN サービスポート情報が表示されます。
許可されているリモート IP	リモート IP を指定します。  注 このフィールドを空欄にすると、どのリモート IP アドレスからのアクセスも許可されます。
説明	ルールの説明を指定します。

4. [適用] をクリックします。


QuRouter がルールを追加します。

ポートフォワーディングルールの設定

1. [NAT] > [ポートフォワーディング] に進みます。
2. ルールを見つけます。
3.  をクリックします。
ルールの編集ウィンドウが開きます。
4. ポートフォワーディングルール設定を変更します。
詳細は、[ポートフォワーディングルールの追加](#)をご覧ください。
5. [適用] をクリックします。

QuRouter がポートフォワーディングルールを更新します。

ポートフォワーディングルールの削除

1. [NAT] > [ポートフォワーディング] に進みます。
2. ルールを見つけます。
3.  をクリックします。
確認のメッセージが表示されます。
4. [適用] をクリックします。

QuRouter がルールを削除します。

非武装地帯 (DMZ)

非武装地帯 (DMZ) は、ファイアウォールの背後にパブリックアクセスが可能なサブネットワークを作成します。DMZ ルールを設定すると、ネットワーク全体のセキュリティを損なうことなく WAN へのパブリックサービスを追加することができます。



重要

DMZ ルールの設定は、ポートフォワーディングルールが使用されていない設定の WAN インタフェースでのみ可能です。



DMZ の設定を行う

1. [NAT/ファイアウォール] > [NAT] > [非武装地帯 (DMZ)]に進みます。
2. DMZ ルールを確認します。




注

- DMZ ルールではデフォルトインタフェースとして 1GbE WAN ポート 1 が使用されます。
- 設定される各 WAN ポートには 1 つの DMZ ルールが可能です。

3.  をクリックします。
DMZ 設定ウィンドウが表示されます。
4. DMZ ルールのサブネット IP アドレスを指定します。
5. [適用] をクリックします。
QuRouter が設定を適用します。
6.  をクリックします。
QuRouter が DMZ ルールを有効にします。

DMZ ルールの削除

1. [NAT/ファイアウォール] > [NAT] > [非武装地帯 (DMZ)]に進みます。
2. DMZ ルールを確認します。
3.  をクリックします。

QuRouter が DMZ ルールを削除します。

探索設定

QuRouter は、ドメイン上のネットワークインフラストラクチャを探し、管理できるようにします。




ユニバーサルプラグアンドプレイ (UPnP) を設定する

ユニバーサルプラグアンドプレイ (UPnP) は、ネットワーク上でのピアツーピア通信のダイナミックポートオープニングを有効にするネットワーキングプロトコルです。



重要

UPnP を有効にすることで、デバイスがインターネット上で検出可能になり、マルウェアに感染しやすくなります。動作させない場合は無効にしてください。

1. [NAT/ファイアウォール] > [UPnP] に進みます。
2.  をクリックします。
デバイスが UPnP 機能を有効にします。
3. 
WAN インターフェイス以外は  をクリックしてください。
WAN インターフェイスを選択ウィンドウが開きます。
4. WAN ポートを選択します。
5. [OK] をクリックします。

QuRouter が UPnP 設定を適用します。



ヒント


UPnP サービスリストで VLAN が有効の UPnP が表示されます。デフォルトでは、UPnP は VLAN 1 で有効化され、デバイスは自分自身をアダプタイズして VLAN 1 に接続されたデバイスにプラグアンドプレイを可能にします。

ペアレンタルコントロール

QuRouter は、コンテンツフィルタリング、セーフサーチといった機能の管理を行い、接続されるクライアントを不適切な有害コンテンツから保護するペアレンタルコントロール機能を提供します。ネットワーク管理者は、インターネットアクセスの制限、ウェブサイトのブロック、接続されるデバイスへのルールの割り当てを行うペアレンタルコントロールルールを作成できます。

ペアレンタルコントロールルールを追加する

1. [ペアレンタルコントロール] に進みます。
2. [ルールを追加] をクリックします。
ルール追加ウィンドウが開きます。
3. ルール設定を行います。


設定	ユーザーの操作
ルール名	ペアレンタルコントロールルールの名称を指定します。
Web サイトフィルターを有効にする	このオプションを選択するとウェブサイトフィルタリングが有効になり、ユーザーが特定の URL やウェブサイトを閲覧するのを停止します。
ドメイン名フィルター	ドメイン名または特定の URL を入力します。複数の URL はカンマ (,) で区切ります。
セーフサーチ	<p>以下のサイトで望ましくない露骨なコンテンツを除外するにはセーフサーチを有効にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • YouTube <p> 注 次の制限モードから選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 制限中: 成人向けや暴力シーンの可能性があるコンテンツをすべてブロックします。 • 中間: 明らかな露骨や大人向けコンテンツを部分的に許可します。 <ul style="list-style-type: none"> • Google • Bing

4. [適用] をクリックします。

QuRouter がペアレンタルコントロールルールを作成します。


ペアレンタルコントロールルールを設定する

1. [ペアレンタルコントロール] に進みます。
2. ルールを識別します。

3.  をクリックします。
ルール編集ウィンドウが開きます。
4. ペアレンタルロール設定を行います。
詳細は、[ペアレンタルコントロールルールを追加する](#)を参照してください。
5. **[適用]** をクリックします。

QuRouter がペアレンタルコントロールルールを更新します。

ペアレンタルコントロールルールを削除する

1. **[ペアレンタルコントロール]** に進みます。
2. ルールを見つけます。
3.  をクリックします。
確認のメッセージが表示されます。
4. **[適用]** をクリックします。

QuRouter がルールを削除します。

デバイスをペアレンタルコントロールルールに追加する




注

ひとつのデバイスを一度に複数のルールに割り当てることはできません。

1. **[ペアレンタルコントロール]** に進みます。
2. デバイスに追加するルールを見つけます。
3. **[デバイスの追加]** をクリックします。
デバイスの追加ウィンドウが開きます。
4. 一覧から無線デバイスを 1 つ選択します。
5. **[追加]** をクリックします。

QuRouter がそのデバイスをペアレンタルコントロールルールに追加します。

デバイスをペアレンタルコントロールルールから削除する

1. **[ペアレンタルコントロール]** に進みます。
2. 削除するデバイスを特定します。
3.  をクリックします。
確認のメッセージが表示されます。
4. **[OK]** をクリックします。

QuRouter がそのデバイスをペアレンタルコントロールルールから削除します。

9. QuRouter アプリ

QuRouter

このセクションでは、Android と iOS に QuRouter 1.0.0 (以降) を適用します。

QuRouter は、QNAP モバイルアプリケーションで、QMiro および QMiroPlus ルーターを設定できます。Google Play Store または App Store に進んで QuRouter をダウンロードし、モバイルデバイスから QNAP ルーターを設定します。

新しいルーターを設定するには、[QuRouter アプリを使用してルーターを設定する](#)をご覧ください。

新しいノードをメッシュネットワークに追加するには、[ノードをメッシュネットワークに追加する](#)をご覧ください。

システム要件

QuRouter は、次のモバイルプラットフォームで利用できます。




- Android 5.0 以降
- iOS 11 以降

Google Play Store または Apple App Store にアクセスし、最新の QuRouter バージョンをモバイルデバイスにダウンロードします。

QuRouter アプリを使用してルーターを設定する


1. Android または iOS デバイスの QuRouter を開きます。
2. **[新しいデバイスの設定]** をタップします。
デバイスの選択ページが表示されます。
3. QMiro デバイスを選択します。
4. **[起動]** をタップします。
デバイスをオンにするページが表示されます。
5. **[次へ]** をタップします。
インターネットに接続するページが表示されます。
6. **[次へ]** をタップします。
7. LED の状態を確認します。
詳細は、[LED](#) をご覧ください。
8. ストレージの電源ボタンを押します。
ストレージ機能が利用できるようになります。
9. ルーター LED の状態と定義を確認するために、**[LED の状態]** をタップします。
10. **[次へ]** をタップします。
11. 次のいずれかを用いてモバイル デバイスをルーターに接続します。

接続	ユーザーのアクション
ワイヤレスで接続する	次のいずれかを用いてモバイル デバイスをルーターのワイヤレス機能に接続します。

	<p>a. モバイルデバイスの 【設定】 > 【Wi-Fi】 に進みます。</p> <p>b. Wi-Fi を有効にします。</p> <p>c. ルーターの SSID をスキャンします。</p> <p>d. SSID をタップします。</p> <p>e. ルーターパスワードを入力します。</p> <p> 注 SSID とパスワードはルーターのアセットタブに表記されています。</p> <p>f. Android デバイスの 【接続】 をタップするかまたは、iOS デバイスで 【参加】 をタップします。</p> <p>g. QuRouter アプリを開きます。</p> <p>h. 【OK】 をタップします。</p>
Bluetooth で接続する	<p>モバイル デバイスをルーターの Bluetooth に接続します。</p> <p>a. モバイルデバイスの 【設定】 > 【Bluetooth】 に進みます。</p> <p>b. Bluetooth を有効にします。</p> <p>c. QuRouter アプリを開きます。</p> <p>d. 一覧からルーターを選択します。</p> <p>e. 【次へ】 をタップします。</p> <p> ヒント  をタップしてルーターを見つけます。</p>

モバイルデバイスがルーターに接続します。

12. ルーターの MAC アドレスの最後の 6 文字を入力します。

 **注**
MAC アドレスがルーターのアセットタブに表記されています。

13. **【次へ】** をタップします。
14. 場所を選択します。
- a. ルーターの場所を次のいずれかから選択します。
- **リビングルーム**
 - **寝室**
 - **オフィス**
 - **ダイニングルーム**

- **勉強部屋**
- **その他:** ルーターの場所に独自の名称を指定します。

b. **[適用]** をタップします。

QuRouter がルーターの場所を保存します。

15. **[次へ]** をタップします。
16. ワイヤレスドメインを設定します。
 - a. ルーターとモバイルデバイスの場所が同じでないと、**ワイヤレスドメイン設定が非対応**ウィンドウが表示されます。
 - b. **[OK]** をタップします。
 - c. ルーターの現在位置を選択します。
 - d. **[適用]** をタップします。
17. ルーターに対する新しい SSID とパスワードを指定します。
18. **[適用]** をタップします。
モバイルデバイスの Wi-Fi 設定ページで更新されたルーター SSID に接続するよう、確認メッセージが表示されます。
19. **[終了]** をタップします。
ファームウェア更新ページが表示されます。
20. **[次へ]** をタップします。
QuRouter が QTS のファームウェアを更新します。
21. **[OK]** をクリックします。
QTS ストレージ設定ページが現れます。
22. QTS ストレージ設定を行います。



ヒント

ストレージ機能が有効でない場合、あるいは QTS がすでに設定されている場合はこのステップをスキップします。

- a. **[開始]** をクリックします。
2.5 インチハードドライブの取り付けページが現れます。
- b. 2.5 インチドライブをインストールします。
詳細は、[2.5 インチトレイへの 2.5 インチハードドライブまたはソリッドステートドライブの取り付け](#)をご覧ください。



ヒント

対応するドライブモデルの一覧については、**[ドライブの互換性リスト]** をクリックします。

ドライブ状態の確認ページが現れます。

- c. ドライブ LED は緑色であることを確認してください。
詳細は、をご覧ください。
- d. **[次へ]** をクリックします。
QuRouter は、ルーターにインストールされたディスクを検出し、ドライブフォーマット確認メッセージを表示します。

- e. **[OK]** をクリックします。
QuRouter は、インストールされたディスクをフォーマットし、**ドライブストレージ設定**ページが表示されます。
- f. RAID タイプを指定します。



ヒント

ドライブベイの画像をタップしてドライブ情報を表示します。

- g. **[次へ]** をクリックします。
ストレージアカウント設定ページが現れます。
- h. ストレージ情報を指定してください。

設定	ユーザーのアクション
ストレージ名	QTS ストレージ名前を指定します。 有効な文字：A～Z、a～z、0～9
ユーザー名	QTS アカウントのユーザー名を指定します。
パスワード	8～14 文字で QTS パスワードを指定します。

- i. **[次へ]** をクリックします。
QTS 初期化完了ページが表示されます。
- j. **[次へ]** をクリックします。
QuRouter は、ルーターファームウェアを更新し、確認メッセージが現れます。
- k. **[OK]** をクリックします。
QuRouter のログインページが現れます。

23. **[QNAP ID でログイン]** をタップします。

24. 以下の中から選びます。

- ・ 全世界
- ・ 中国

25. QNAP ID とパスワードを指定します。

26. **[サインイン]** をタップします。
リモートアクセス設定ページが表示されます。

27. 以下の情報を指定します。

設定	説明
ルーター	リモートルーターの管理には、一意の Dynamic Domain Name System (DDNS) ルーター名が使用されます。
ストレージ	リモートストレージの管理には、一意の DDNS ストレージ名が使用されます。

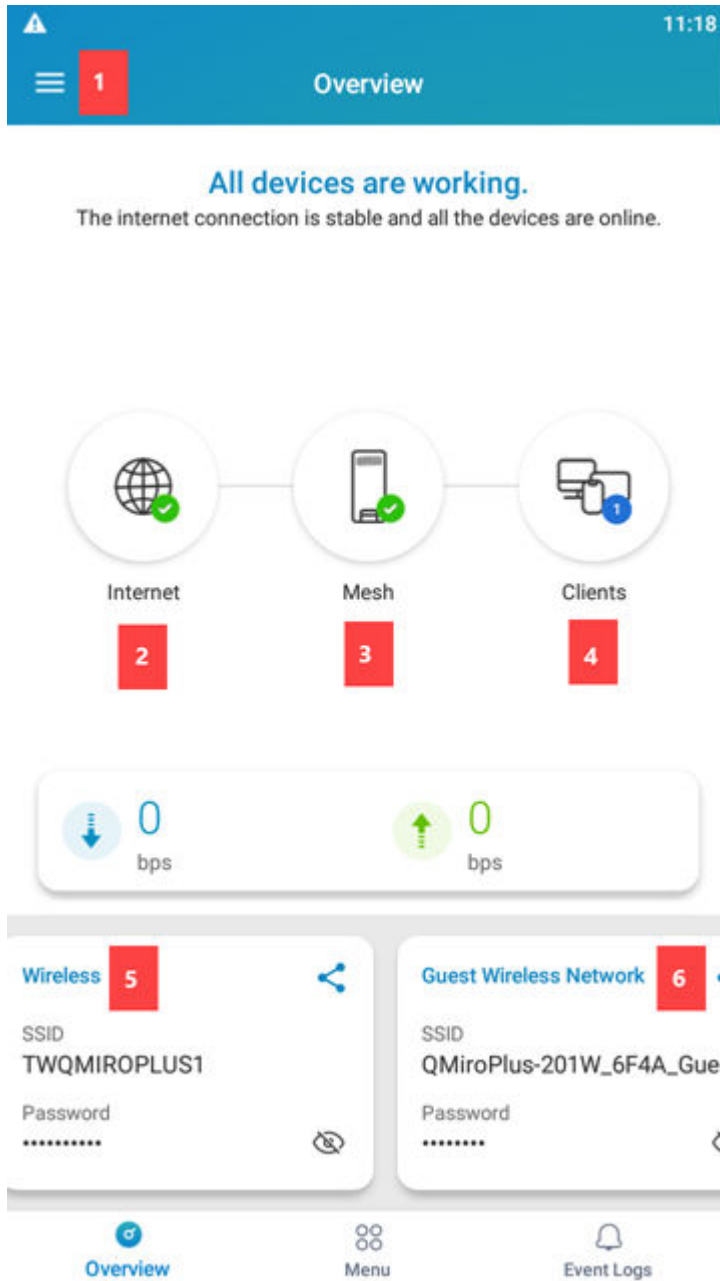
28. **[次へ]** をタップします。
ルーターのセットアップ完了ページが表示されます。





29. **[終了]** をタップします。

概要ページが表示されます。

概要

概要画面は、メッシュネットワーク内のすべての QMiro デバイスに対する接続状態を表示します。この画面では、ワイヤレス設定やゲスト用ワイヤレス設定、プライマリデバイスのネットワークトラフィックにアクセスできます。



番号	説明	ユーザー操作
1	その他	 をタップしてオプションを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • [QNAP_ID]: QNAP ID をタップしてログアウトします。 • 新しいルーターのインストール: タップしてノードをメッシュネットワークに追加します。 • 情報: 以下のオプションを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • フィードバック: QNAP 機能要求 / バグレポート Web ページにアクセスします。 • サポート: QNAP サポートページにアクセスします。 • 免責事項: QNAP 免責事項ページにアクセスします。
2	インターネット	 をタップしてネットワーク設定ページにアクセスします。
3	メッシュ	 をタップしてメッシュネットワーク設定ページにアクセスします。
4	クライアント	 をタップしてルーターに接続されている有線および無線のクライアントにアクセスします。
5	ワイヤレス	タップしてルーターのワイヤレス設定にアクセスします。
6	ゲスト用ワイヤレスネットワーク	タップしてルーターのゲスト用ワイヤレス設定にアクセスします。

10. QTS 管理

ルーターの QTS にアクセスすることにより、ルーターのストレージ機能を利用できます。QTS で、異なる QNAP デバイス間でデータの同期とバックアップができます。

さらに、QuRouter 上の **QTS システムコントロール**を用いて QTS をリモートで再起動またはシャットダウンできます。

QTS アクセス


方法	説明	要件
Web ブラウザ	<p>次の情報がある場合には、QTS IP アドレスを使用してルーターにアクセスすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • QTS IP アドレス • 正規ユーザーアカウントのログイン資格情報 <p> ヒント QTS IP アドレスは、ルーターのアセットタグ上に NAS IP アドレスとして並んでいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • デフォルトのユーザー名: admin • デフォルトのパスワード: 区切り文字を入れず、アルファベット大文字による NAS の MAC アドレス。 	<ul style="list-style-type: none"> • ルーターと同じネットワークに接続されているコンピューター • Web ブラウザ

方法	説明	要件
Qfinder Pro	Qfinder Pro はデスクトップユーティリティで、特定のネットワーク上のQNAP デバイスを見つけ、アクセスできます。このユーティリティは、Windows、macOS、Linux、Chrome OS をサポートします。Qfinder Pro をダウンロードするには、 https://www.qnap.com/utilities に進みます。詳細は、 Qfinder Pro を使用してルーターにアクセスする を参照してください。	<ul style="list-style-type: none"> ルーターと同じネットワークに接続されているコンピューター Web ブラウザ Qfinder Pro

QTS クイックスタートガイド

このトピックは、QMiroPlus-201W ルーターのストレージ機能およびルーター機能をセットアップするクイックスタートウィザードの設定方法を説明します。

1. QTS にログインします。
 - a. Web ブラウザーを開きます。
 - b. アドレスバーに「192.168.100.1」と入力します。
Web ブラウザーが QuRouter のランディングページを開き、ログイン確認メッセージを表示します。
 - c. **[QTS にログイン]** をクリックします。
QTS ログインページが表示されます。
2. デフォルトのユーザー名とパスワードを入力します。

デフォルトのユーザー名	デフォルトのパスワード
admin	区切り文字を入れず、アルファベット大文字による NAS の MAC アドレス。  ヒント たとえば、MAC アドレスが 00:0a:0b:0c:00:01 の場合、デフォルトパスワードは 000A0B0C0001 となります。 MAC アドレスは、デバイス背面側のアセットタグ上にあります。

QTS のデスクトップページが開き、**クイックスタート**ウィザードが自動的に開きます。

3. **[開始]** をクリックします。
QuMagie 情報ページが開きます。
4. **[QuMagie]** をクリックし、QNAP フォト管理サービスを起動します。
5. **[次へ]** をクリックします。
データ管理アプリページが開きます。
6. データ管理のハイパーリンクをクリックし、QNAP データ管理サービスを開始します。
7. **[次へ]** をクリックします。
システムボリュームと QuRouter ページが開きます。
8. ストレージボリュームを設定します。
ストレージプールを作成するには、QTS ユーザーガイドの「ストレージ&スナップショット」の下の「ストレージプールの作成」をご参照ください。
 - a. **[ストレージ&スナップショット]** をクリックします。
ストレージ&スナップショットアプリケーションが開き、**データ収集契約**ページが現れます。
 - b. **[はい]** をクリックします。
クイックスタートウィザードが開きます。
 - c. クイックスタートウィザードをスキップするには、**[スキップ]** をクリックします。
 - d. **[次へ]** をクリックします。
File Station でスナップショットを使用するページが現れます。
 - e. **[次へ]** をクリックします。
スナップショットを使用して別の NAS にデータをバックアップページが現れます。
 - f. **[終了]** をクリックします。
 - g. **[ストレージマネージャー]** > **[ストレージ]** > **[ストレージ領域]** に進みます。
 - h. 次のアクションのいずれかを実行します。

ルーターの状態	アクション
ストレージプールなし	[新規ストレージプール] をクリックします。
1つまたは複数のストレージプール	[作成] をクリックし、 [新規ストレージプール] を選択します。

[ストレージプールの作成ウィザード] ウィンドウが開きます。

- i. **[次へ]** をクリックします。
- j. 拡張ユニット1つを **[エンクロージャーユニット]** リストから選びます。



重要

- 複数の拡張ユニットからディスクを選択することはできません。
- 拡張ユニットが NAS から切り離されると、ストレージプールは再接続されるまでアクセスできなくなります。

- k. 1つあるいは複数のディスクを選択します。

**警告**

選択したディスクの全データが削除されます。

**重要**

- データを保全するため、警告ステータスのディスクを選択することはできません。
- 使用中ステータスは、ディスクが現在外部ディスクとしてフォーマットされており、現在ユーザーデータを含んでいる可能性があることを意味します。

l. RAID タイプを選択します。

ディスクの数	サポートされる RAID タイプ	既定の RAID タイプ
1	1 つ	1 つ
2	JBOD、RAID 0、RAID 1	RAID 1

**ヒント**

どのオプションを選択するかわからなければ、既定の RAID タイプをご利用ください。

- m. [次へ] をクリックします。
- n. アラートしきい値を設定します。
- o. [次へ] をクリックします。
- p. ストレージプール情報を確認します。
- q. [作成] をクリックします。
確認のメッセージが表示されます。
- r. [OK] をクリックします。
QTS はストレージプールを作成した後、**ストレージ領域**画面に情報を表示します。

**警告**

[OK] をクリックすると選択したディスクのデータがすべて削除されます。

- 9. ストレージプールにスタティックボリュームを作成します。
 - a. [ストレージ] > [ストレージ/スナップショット] > [ストレージ領域] に進みます。
 - b. ストレージプールを選択します。
 - c. [管理] をクリックします。
ボリューム作成ウィザードウィンドウが開きます。
 - d. ボリュームの場所を確認してください。
 - e. [次へ] をクリックします。
 - f. ボリュームエイリアスを指定してください。
 - g. ボリューム容量を指定します。
 - h. [次へ] をクリックします。
要約ページが開きます。
 - i. [終了] をクリックします。
QTS がボリュームを作成した後、[Volume_Name] 管理画面に情報が表示されます。

j. **[閉じる]** をクリックします。

10. **クイックスタート**を開きます。
11. システムボリュームが**システムボリュームと QuRouter** ページに作成されていることを確認します。
12. **[次へ]** をクリックします。
QuRouter ページが表示されます。
13. **[次へ]** をクリックします。
初期化されていないルーターウィンドウが開きます。
14. **[OK]** をクリックします。
QuRouter アプリケーションが開きます。
15. QuRouter を設定します。
詳細は、[QuRouter の設定](#) をご覧ください。

QTS パワーアクションの実施

1. **QTS システムコントロール**機能にアクセスする方法を選択します。
 - QuRouter Web インタフェースで、**[コントロールホスト]** に進みます。
 - QTS Web インタフェースで、QuRouter を開き、**[コントロールホスト]** に進みます。
2. QTS で以下のアクションを実行します。

タスク	説明	手順
QTS をシャットダウン	このアクションを使用して、ルーターのストレージ機能をシャットダウンします。	QTS システムコントロール 画面上： <ul style="list-style-type: none"> • [QTS をシャットダウン] をクリックします。 確認のメッセージが表示されます。 • [OK] をクリックします。 ルーターがストレージ機能の電源を切ります。
QTS の再起動	このアクションを使用して、ルーターのストレージ機能を再起動します。 QTS が無応答になった場合、それを手動で再起動できます。	QTS システムコントロール 画面上： <ul style="list-style-type: none"> • [QTS の再起動] をクリックします。 確認のメッセージが表示されます。 • [OK] をクリックします。 ルーターがストレージ機能を再起動します。

QuRouter により、指定したアクションが実行されます。

QTS システム情報の表示

QTS システムコントロールページは、QMiroPlus-201W ルーターのストレージ機能に関する基本情報を表示します。

1. **QTS システムコントロール**機能にアクセスする方法を選択します。
 - QuRouter Web インタフェースで、**[コントロールホスト]** に進みます。

- QTS Web インタフェースで、QuRouter を開き、**[コントロールホスト]** に進みます。

2. 次の QTS システム情報をチェックします。

情報	説明
CPU 温度	ルーター CPU の現在温度。
ファン速度	ルーターの現在のファン速度。
QTS IP アドレス	現在のルーターの QTS IP アドレス。

11. トラブルシューティング

ホットスワップが不良なドライブ

ルーターは、RAID 1 構成のドライブのホットスワップをサポートします。

RAID タイプ	ディスクの数	状況
RAID 1	2	メンバードライブの 1 台に障害が発生。

1. QTS にログオンします。
2. [メインメニュー] > [ストレージ&スナップショット] > [ストレージ] > [ディスク/VJBOD] に進みます。
3. 障害が発生したドライブを特定します。
4. 障害が発生したハードドライブと同じかそれ以上の容量をもつ新しいハードドライブを用意します。
5. 障害が発生したドライブをデバイスから取り外します。
6. 20 秒間、またはデバイスからビープ音が 2 回鳴るまで待ちます。
7. 障害が発生したドライブをドライブトレイから取り外します。
8. ドライブトレイに新しいドライブを差し込みます。
9. 新しいドライブを取り付けます。
10. [メインメニュー] > [ストレージ&スナップショット] > [ストレージ領域] の順に選択します。
11. 新しいドライブを含んでいる共有フォルダーを特定し、そのステータスが [再構築中] であることを確認します。

サポートおよびその他のリソース

QNAP は次のリソースを提供しています。

リソース	URL
マニュアル	https://docs.qnap.com
サービスポータル	https://service.qnap.com
ダウンロード	https://download.qnap.com
コミュニティフォーラム	https://forum.qnap.com

12. 用語集

myQNAPcloud

DDNS や myQNAPcloud Link などの、さまざまリモートアクセスサービスを提供します

Qfinder Pro

QNAP ユーティリティでは、ローカルエリアネットワークで QNAP NAS を検索してアクセスできます

QNAP ID

myQNAPcloud リモートアクセスおよびその他 QNAP サービスを利用できるユーザーアカウント

QTS

QNAP NAS オペレーティングシステム

QuRouter

これは QNAP ルーターの表示と設定を可能にする QNAP Web 管理インターフェイス

QuWAN

QNAP SD-WAN 管理システム

QuWAN Orchestrator

QNAP SD-WAN インフラストラクチャ向けの集中化された管理クラウドプラットフォーム

13. 注意

この章では、保証、免責事項、ライセンス、連邦規制についての情報を提供します。

限定保証

QNAP は同社の製品に対して限定保証を提供します。ご利用の QNAP ハードウェア製品は、材質や組み立ての不良に対し、請求書に印刷された日付から一年間あるいはそれ以上の期間保証が受けられます。("保証期間")。法的権利については、www.qnap.com/warranty をご覧ください。この内容は QNAP の裁量で適時修正されます。

免責事項

本文書に含まれる情報は、QNAP Systems, Inc. の製品 ("QNAP") に関連し提供されます。明示的か黙示的かを問わず、禁反言の法理その他により、本文書によっていかなる知的財産権も使用許諾されません。かかる製品に対する QNAP の販売条件で定められている場合を除き、QNAP は QNAP 製品の販売や使用に関し、特定目的への適合性、商品性、あらゆる特許権、著作権、その他知的財産権に関する責任や保証を含むいかなる責任も負わず、QNAP は明示または黙示の保証を否認します。

QNAP 製品は、医療、救命、生命維持、臨界制御または安全施設、核施設用途での使用を前提としていません。

いかなる場合も QNAP の責任は直接的、間接的、特別、偶発的、または必然的なソフトウェアまたはそのマニュアルに由来する製品の対価を超えることはありません。QNAP は、その製品もしくはコンテンツまたは本書の使用および付随するすべてのソフトウェアに関して明示、黙示、または法定上の保証または表明を行いません。特に、品質、性能、商品性、または特定目的の適合性に対する責任を否認します。QNAP は、いかなる個人または事業者に対する通知義務なく製品、ソフトウェア、またはマニュアルを改定または更新する権利を保持します。

起こりうるデータ損失を避けるため、定期的にシステムをバックアップしてください。QNAP は、いかなるデータの損失または復元についても一切の責任を放棄します。

NAS (ネットワーク接続ストレージ) など QNAP のパッケージの何らかのコンポーネントを返金または保守管理のため返品する場合は、必ず丁寧に梱包してから返送してください。不適切な梱包によりいかなる形の損傷が生じても補償されません。

すべての特長、機能、およびその他の製品仕様は事前の通知または義務なく変更することがあります。本書に含まれる情報は、通知なく変更することがあります。

また、本文では ® や ™ の記号が使用されていません。

CE 通知



この QNAP デバイスは、CE コンプライアンスクラス B に準拠しています。

FCC 通知

FCC クラス B 通知



本製品は FCC 規則パート 15 に準拠しています。操作は次の 2 つの条件に規制されま

す。

1. この機器は有害な干渉を起こしてはならない。
2. この機器は、誤動作の原因となる干渉であっても、あらゆる干渉に甘んじなければならない。



注

本機はテストされ、FCC 規則パート 15 に従って、クラス B デジタルデバイスの制限に準拠することが認められました。これらの制限は、住宅地に設置する場合に危険な干渉を合理的に保護するよう設計されています。本機は無線周波数エネルギーを発生、使用、放射します。指示に従わずに設置し使用すると、無線通信に危険な干渉を引き起こすことがあります。しかしながら、特定の設置では干渉が発生しないという保証はありません。本機が無線またはテレビの受信に危険な干渉を引き起こす場合、それは本機の電源をオフ/オンにすると判断できますが、次の対策の 1 つ以上を行うことで干渉の修正を試みるようお願いいたします。

- 受信アンテナの方向または場所を変える。
- 本機と受信機の間をさらに離す。
- 本機を接続するコンセントを、受信機が接続されているコンセントと回路が異なるコンセントに接続する。
- 販売店または経験を積んだ無線またはテレビ技術者に相談する。



重要

QNAP Systems, Inc. からの許可を受けることなく、本装置に承認されていない改造が行われた場合には、FCC からユーザーに与えられた本装置を操作する権利が規制される場合があります。

Radio Equipment Directive (RED) 2014/53/EU Article 10



RED 2014/53/EU は、EU 内の特定の国で問題が発生する可能性のある製品に対しては、製品文書で制限を列挙しなければならず、包装にはその国の規定を示すラベルを添付する必要があります。

この QNAP ルーターは、RED 2014/53/EU article 10 に準拠しています。

EU RoHS ステートメント

本装置は、電気・電子機器における特定の有害物質の使用規制に関する EU RoHS の指令 2011/65/EU に準拠しています。この指令は電気・電子機器における、鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、ポリ臭化ビフェニル (PBB)、ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE) の使用に適用されます。

ISED 準拠ステートメント

カナダ産業省はイノベーション・科学・経済開発省 (ISED) と名称が変わり、RSP-100 Issue 11 と DC-01 Issue 06 を発行しました。以前はカナダ産業省が発行していた機器認定は引き続き有効で、更新は不要です。したがって文書中ではその名称が混在して使用されている場合があります。以下のステートメントは、イノベーション・科学・経済開発省 (ISED) との認可を受けている ASiR-pRRH に適用されます。この機器は、カナダ産業省の ICES-003 ライセンス免除 RSS に準拠しています。操作は次の 2 つの条件に規制されます。

1. この機器は干渉を起こしてはならない。
2. この機器は、機器の誤動作の原因となる干渉であっても、あらゆる干渉を許容しなければならない。

放射線曝露ステートメント

この製品は、制御されていない環境に対して規定された IC 放射線曝露に準拠しています。RSS 102 RF 曝露準拠要件に準拠するためには、このデバイスのアンテナとすべての人との間に少なくとも 27cm の分離距離を維持する必要があります。5150-5350 MHz 帯のデバイスは、同一チャンネルモバイル衛星システムとの有害な干渉の可能性を減じるため、室内でのみ利用できます。

EU 指令 2002/96/EC Waste Electronic and Electrical Equipment (WEEE)



WEEE 法規の要求に従い、QNAP の全電気製品に対し、WEEE の指令により次のユーザー情報がお客様に提供されます。

製品またはその包装にあるこの記号は、この製品は一般の生活廃棄物と一緒に廃棄してはならないことを示しています。代わりに、廃棄電気・電子製品をリサイクルできるように、廃棄機材を指定の回収場所に持って行って処分することはお客様の責任です。処分の際に廃棄機材の分別回収とリサイクルを行うことで、天然資源の保護に貢献でき、人の健康と環境を保護しながらのリサイクルが可能になります。リサイクルのための廃棄機材の持ち込み先についての情報は、各自治体、生活廃棄物処理サービス、あるいは製品を購入した店舗にお問い合わせください。

CCC クラス B 通知

以下のステートメントは、中国向け製品で、製品のコンプライアンスラベルに「Class B」と提示されている製品が対象です。

声明 此为 B 级产品。在生活环境下，它可能带来无线电干扰。如果此类情况发生，用户必须采取必要措施。此产品只用于室内。消费者若使用电源适配器供电，则应购买配套使用满足相应全标准要求的电源适配器或者是获得 CCC 认证的电源适配器

UKCA 通知



このデバイスは、英国で販売されている製品の UKCA 要件に準拠しています。